

MORO SHIGEKI

# 師 茂樹 教授

研 究 業 績

2024年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書(共)	『電脳中国学: インターネットで広がる漢字の世界』漢字文献情報処理研究会編、好文出版、146~151, 184~186, 188~193, 196~205頁	1999.3
著書(共)	『パソコン悠悠漢字術: 今昔文字鏡徹底活用』、紀伊國屋書店、37~59, 154~174, 175~186, 187~189頁	1999.4
著書(共)	『インターネット時代の文字コード』小林竜生、共立出版、194~205頁「タグ付き言語と文字コード」	2002.1
著書(共)	『電脳中国学 2』漢字文献情報処理研究会、好文出版、88~89, 92~95, 96~108, 138~141, 156~172, 322~331頁	2002.4
著書(共)	『日本史の脱領域: 多様性へのアプローチ』方法論懇話会、森話社、98~113頁「データベースがもたらすもの コンピュータの中の歴史/物語」	2003.2
著書(共)	『インド哲学仏教学への誘い—菅沼晃博士古稀記念論文集』、大東出版社、272~278頁「IT社会におけるインド学仏教学」	2005.3
著書(共)	<i>Korean Buddhism in East Asian Perspective</i> (Korean Studies Series No. 35)、Seoul: Jimoondang、321~331頁 “Xuanzang's Inference of Yogācāra and Its Interpretation by Shilla Buddhists.”	2007.5
著書(共)	『情報歴史学入門』後藤真、田中正流、師茂樹、金寿堂出版、6~7頁「この本の読み方」、32~37頁「文化庁「子ども文化教室」を読む」、72~87頁「モノ史料/建物/遺跡」、94~102頁「地理情報」、104~127頁「情報を引き出す」、130~135頁「著作権とライセンス」、152~173頁「卒業論文に向けて」	2009.5
著書(共)	『新常用漢字表の文字論』文字研究会、勉誠出版、15~28頁「一般キャラクター論としての文字論の可能性」	2009.12
著書(共)	『奈良伝説探訪』丸山顕徳編、三弥井書店、68~71頁「三月堂と蜂の宮」/137~141頁「実忠と笠置寺」	2010.4
著書(共)	『電脳中国学入門』漢字文献情報処理研究会編、好文出版	2012.2
著書(共)	『からだの文化—修行と身体像』夏目房之介、李保華、大地宏子、野村英登、師茂樹、五曜書房、53~103頁「修行マニュアルを読む—『天台小止観』を中心に」	2012.7
著書(共)	『フィクション論への誘い—文学・歴史・遊び・人間』大浦康介編、世界思想社、145~166頁「プロレス、あるいは虚実の間」	2013.1
著書(共)	『大学で学ぼう—知のスキルアップ 15』漢字文献情報処理研究会編、好文出版	2013.2
著書(共)	伊藤瑞叡博士古稀記念論文集刊行会編『伊藤瑞叡博士古稀記念論文集: 法華』	2013.2

	仏教と関係諸文化の研究』、山喜房佛書林、301～314 頁「玄奘伝と「唯識比量」：興聖寺本『続高僧伝』を中心に」	
著 書 (共)	『キャンパスライフ：入学から卒業へ』丸山顯徳編、嵯峨野書院、第 5 課「情報収集と利用」	2013.3
著 書 (共)	『奈良春日野の歴史と文学を歩く』宮川久美編、日本国語国文学研究所	2013.3
著 書 (共)	『人文学と著作権問題—研究・教育のためのコンプライアンス』石岡克俊、小島浩之、上地宏一、佐藤仁史、田邊鉄、千田大介、二階堂善弘、師茂樹、山田崇仁、漢字文献情報処理研究会、好文出版	2014.2
著 書 (共)	『平成 25 年度 京都の「地蔵」信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業 報告書』京都の地蔵信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業実行委員会、第 II 部「分布調査」(花園大学・京都府立総合資料館の共同執筆)	2014.3
著 書 (共)	<i>Logic in Buddhist Scholasticism: From Philosophical, Philological, Historical and Comparative Perspectives</i> , Gregor Paul 編、Lumbini International Research Institute、351～370 頁 “Gomyō’s Interpretation on the proof of <i>vijñapti-mātratā</i> .”	2015
著 書 (共)	『平成 26 年度 京都の「地蔵」信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業 報告書』京都の「地蔵」信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業実行委員会、9～12 頁「京都市中京区の「地蔵」分布調査」、15～21 頁「京都の「地蔵」信仰の背景」	2015.3
著 書 (共)	『私が変われば世界が変わる：学生とともに創るアクティブ・ラーニング』中善則、秦美香子、野田光太郎、師茂樹、山中昌幸、西澤直美、角野綾子、丹治光浩、花園大学アクティブ、ラーニング研究会、ナカニシヤ出版、33～48 頁「「情報と社会」におけるつぶやき授業——ICT で社会とつなぐ」	2015.3
著 書 (単)	『論理と歴史—東アジア仏教論理学の形成と展開』ナカニシヤ出版	2015.6
著 書 (単)	『『大乘五蘊論』を読む』春秋社	2015.9
著 書 (共)	『大和の歴史と伝説を訪ねて』丸山顯徳編、三弥井書店、166～171 頁「泥海からはじまる世界 天理市」	2016.3
著 書 (共)	『中国学と情報化：論集』漢字文献情報処理研究会編、好文出版、29～38 頁「デジタル時代の文献目録」	2016.3
著 書 (共)	『世界神話伝説大事典』篠田知和基、丸山顯徳編、勉誠出版、「弘法大師」「賢者」「夢」「人食い」「復活」の項目	2016.7
著 書 (共)	『仏教史研究ハンドブック』佛教史学会、法藏館、130～131 頁「第 2 部 中国、朝鮮半島 第 2 章 朝鮮半島 第 2 節 朝鮮仏教の独自性—正統と異端／独自性—」、132～133 頁「第 2 部 中国、朝鮮半島 第 2 章 朝鮮半島 第 3 節 国外との関係 1 新羅以前のインド・中国・日本との交流」、136～137 頁「第 2 部 中国、朝鮮半島 第 2 章 朝鮮半島 第 5 節 他宗教との関係 1 古代における儒教・道教等との関係」	2017.2
著 書 (共)	『企画展 デジタルで楽しむ歴史資料』国立歴史民俗博物館、国立歴史民俗博物館、50～51 頁「IV-2 京町家の 3D グラフィックス再現」	2017.3
著 書 (単)	『오온과 유식-대승오온론 역주 (五蘊と唯識: 大乘五蘊論訳注)』民族社 (2015 年『『大乘五蘊論』を読む』の韓国語訳)	2018.9

著書(共)	芳井敬郎名誉教授古稀記念会編『京都学研究と文化史の視座』芙蓉書房出版、329～339頁「大西祝の因明理解」	2019.3
著書(共)	『多元化するゲーム文化と社会』松井広志, 井口貴紀, 大石真澄, 秦美香子編、ニューゲームズオーダー、339～342頁「コラム インタラクティブ・フィクション」	2019.5
著書(共)	<i>East Asian discussion on the historicity of the proof of śūnyatā.” Transmission and Transformation of Buddhist Logic and Epistemology in East Asia</i> , 護山真也編、Arbeitskreis für Tibetische und Buddhistische Studien, Universität Wien、287～304頁 “Was there a dispute between Dharmapāla and Bhāviveka?: East Asian discussion on the historicity of the proof of śūnyatā”	2020.
著書(共)	<i>From Chang’an to Nālandā: The Life and Legacy of the Chinese Buddhist Monk Xuanzang (602?-664)</i> , SHI Ciguang, CHEN Jinhua, JI Yun, SHI Xingding 編、WorldScholastic Publishers、252～269頁 “Biography as Narrative: Reconsideration of Xuanzang’s Biographies Focusing on Japanese Old Buddhist Manuscripts.”	2020.5
著書(共)	『원효元曉, 문헌과 사상의 신지평 (元曉、文献と思想の新地平)』 동국대학교 불교문화연구원 HK 연구단(東国大学校仏教文化研究院 HK 研究団)、동국대학교출판부 (東国大学校出版部)、177～205頁 「원효『중변분별론소』의 사상사적 위상과 그 의의 (元曉『中辺分別論疏』の思想史的位相とその意義)」	2020.5
著書(共)	『仏教思想の展開: 花野充道博士古稀記念論文集』花野充道博士古稀記念論文集刊行会、山喜房佛書林、553～574頁「最澄『通六九証破比量文』の思想史的位相: 二比量を中心に」	2020.10
著書(共)	『療法としての歴史<知>:いまを診る』方法論懇話会編、森話社、290～305頁「症例15 アニメーションは〈日本のお家芸〉か 創られた自意識 アニメーションと日本文化」	2020.12
著書(共)	『仏教事典』日本仏教学会、丸善出版、「人工知能・ロボットとの共生」の項目	2021.1
著書(共)	『村上専精と日本近代仏教』、オリオン・クラウタウ編、法藏館、57～83頁「村上専精『活用講述因明学全書』の思想」	2021.3
著書(共)	『コロナがあらわにした分断される意識: 和解と救済の社会学へ』花園大学人権教育研究センター、批評社、13～42頁「新型コロナウイルス感染症と人権: 花園大学からのメッセージ」(佐々木閑, 吉永純, 師茂樹, 梅木真寿郎)	2021.3
著書(共)	『デジタル時代の中国学リファレンスマニュアル』漢字文献情報処理研究会、好文出版、176～184頁「仏典の叢書・テキスト」, 185～193頁「仏典を検索する」, 194～199頁「仏典の分類」, 256～258頁「解説 韓国の学術論文をしらべる」, 265～266頁「解説 欧米の中国関係論文をさがす」, 323～326頁「仏教の仏・菩薩・天・高僧等をしらべる」	2021.3
著書(共)	『モア・ザン・ヒューマン: マルチスピーシーズ人類学と環境人文学』奥野	2021.9

	克巳, 近藤祉秋, ナターシャ ファイン, ラディカ ゴヴィンドラジャン, 宮本万里, アレックス ブランシェット, 吉田真理子, ジョン ナイト, 合原織部, 村津蘭, エドゥアルド コーン, 近藤宏, アナンド パンディアン, 山田祥子, 石倉敏明, 唐澤太輔, 結城正美, 江川あゆみ, 清水高志, 師茂樹, 大石友子, 中江太一、以文社、255～274 頁「第九章 仏教哲学の真源を再構築する」(清水高志 インタビュー, 師茂樹 聞き手)	
著 書 (単)	『最澄と徳一：仏教史上最大の対決』岩波書店	2021.10
著 書 (共)	『玄奘三蔵：新たなる玄奘像をもとめて』佐久間秀範, 近本謙介, 本井牧子編、勉誠出版、226～247 頁「玄奘が学んだ仏教知識論 (因明)」『玄奘三蔵：新たなる玄奘像をもとめて』	2021.12
著 書 (共)	『共事者の社会へ』花園大学人権教育研究センター編、批評社、30～57 頁「『AI 美空ひばり』は冒涇か：人工知能が死者を代弁することをめぐって」	2022.3
著 書 (共)	『神話研究の最先端』角南聡一郎, 丸山顕誠編、笠間書院、190～204 頁「仏教研究の方法と神話」	2022.12
著 書 (共)	『近現代中外因明研究学術史 (上下冊)』沈劍英, 姚南強, 沈海波, 沈海燕, 吉美桑珠, 陳立健, 秀仁, Pramod Kumar, 師茂樹, 桂紹隆, Nataliya Kanaeva、上海書店出版社、869～905 頁「日本近現代的因明研究 (上)：明治時期的因明研究」(李薇訳、2017 年の論文「明治时期的日本因明研究概況」の再録)	2023.6
論 文 (単)	「『守護国界章』における三時教判の研究」修士論文、東洋大学大学院文学研究科仏教学専攻	1997.3
論 文 (単)	「最澄所引の實法師『融文』について」『東洋大学大学院紀要』34、153～171 頁	1998.2
論 文 (単)	「法相宗の「一乗方便」説再考：諸乗義林を中心に」『印度學佛教學研究』47(1)、66～68 頁	1998.12
論 文 (単)	「慈蘊『法相髓腦』の復原と解釈」『東洋大学大学院紀要』35、163～178 頁	1999.2
論 文 (単)	“On the Missing-Characters (GAIJI) of the Taisho Tripitaka Text Database Published by SAT.” 『Proceedings of 1999 EBTI, ECAI, SEER & PNC Joint Meeting 太平洋鄰里協會一九九九年會論文集』、323～328 頁	1999.4
論 文 (単)	「仏教研究におけるコンピュータ利用の現状: INBUDS を中心に」『人文学と情報処理』(24)、54～59 頁	1999.9
論 文 (単)	「第 5 回 EBTI 報告」『人文学と情報処理』(24)、47～53 頁	1999.9
論 文 (単)	「撲揚智周伝についての二、三の問題：師承関係を中心に」『印度学仏教学研究』48(1)、170～172 頁	1999.12
論 文 (単)	「仏教学データベースにおける XML の活用: INBUDS における ID 検索の実現にむけて」『漢字文献情報処理研究』(1)、19～27 頁	2000.10
論 文 (共)	「『成唯識論同学抄』の研究(3)」『龍谷大学仏教文化研究所紀要』39 (楠淳証, 後藤康夫, 西村玲, 蜷川祥美, 弥山礼知, 師茂樹)、11～124 頁	2000.11
論 文 (単)	「新羅元暁の三時教判批判：『大慧度経宗要』を中心に」『印度學佛教學研	2000.12

	究』49(1)、107～109頁	
論文(単)	「GB18030 とは何か: 大陸の戦略」『漢字文献情報処理研究』(2)、14～20頁	2001.10
論文(単)	「XML と NGSM によるテキスト内部の比較分析実験: 『守護国界章』研究の一環として」『漢字文献情報処理研究』(2)、62～67頁	2001.10
論文(単)	“Complex Spatial Digitization Tasks for the SAT Project.” 『電子佛典』(3)、57～68頁	2001.12
論文(単)	“Chiko’s Criticism of the Hosso Sect, and Wonhyo’s Influence.” 『印度學佛教學研究』50(2)、980～977頁	2002.3
論文(単)	「N グラムモデルとクラスター分析を用いた漢文古典テキストの比較研究: 『般若心経』の異訳の比較を例に」『京都大学大型計算機センター第69回研究セミナー 東洋学へのコンピュータ利用』、63～72頁	2002.3
論文(単)	「情報歴史学の課題: 花園大学・情報歴史学コースのための主観的航海図」『漢字文献情報処理研究』(3)、68～72頁	2002.10
論文(単)	「相部律宗定賓の行状・思想とその日本への影響: 『四分律疏飾宗義記』に見える仏身論を中心に」『戒律文化』(2)、95～112頁	2003.3
論文(単)	“Criticism of the Hosso Theory in <i>Girin</i> Quoted by Saicho: Especially with Relation to Wonhyo and Uijok.” 『印度學佛教學研究』51(2)、1032～1026頁	2003.3
論文(単)	「唐代仏教における社会事業--慧沼とその弟子による架橋」『花園大学文学部研究紀要』(35)、43～60頁	2003.3
論文(共)	「CHISE Project」『漢字文献情報処理研究』(4) (守岡知彦, 江渡浩一郎, 苫米地等流, 宮崎泉, 師茂樹)、58～69頁	2003.10
論文(単)	「Perl/CHISE による正規表現の拡張の試み: 文字素性による後方参照の実装実験と課題」『Linux Conference 抄録集』1、全9頁	2003.11
論文(単)	「N グラムと文字データベースによる漢字仏教文献の分析」『情報処理学会研究報告. 人文科学とコンピュータ研究会報告』2004(7)、13～18頁	2004.1
論文(単)	“Surface or Essence: Beyond the Coded Character Set Model.” 『書体・組版ワークショップ』報告書、26～35頁	2004.2
論文(単)	「鹿食和上必当作仏: 『守護国界章』が想定する円機未熟の読者」『印度學佛教學研究』52(2)、582～587頁	2004.3
論文(単)	「法宝『大般涅槃経疏』逸文とその分析: 済暹による引用文を中心に」『花園大学文学部研究紀要』(36)、77～97頁	2004.3
論文(単)	「「私」を書き残すために: 松本史朗「縁起について」の可能性」『GYRATIVA』(3)、8～17頁	2004.3
論文(単)	「Unicode の character 概念に関する一考察」『東洋学へのコンピュータ利用 第15回研究セミナー』、3～8頁	2004.3
論文(単)	「清辨の比量をめぐる諸師の解釈: 『唯識分量決』を中心に」『한글불교학결집대회논집 (韓国仏教結集大会論集)』2(1)、572～584頁	2004.5
論文(共)	「文字素性に基づく文字処理」『情報処理学会研究報告』2004(58) (守岡知彦, 師茂樹)、53～60頁	2004.5

論文(単)	「清辨比量の東アジアにおける受容」『불교학연구(仏教学研究)』(8)、297～322頁	2004.6
論文(単)	「思想史としての文字情報処理: 問題提起として」『シンポジウム「文字情報処理のフロンティア: 過去・現在・未来」予稿集』	2004.6
論文(単)	「NGSM 結果のばねモデルによる視覚化」『漢字文献情報処理研究』(5)、102～107頁	2004.10
論文(単)	「玄奘の唯識比量と新羅仏教: 日本の文献を中心に」『2004 금강대학교 국제 불교학술회의(2004 金剛大学校国際仏教学術会議)』、335～347頁	2004.10
論文(共)	「パネルディスカッション: 人文科学にとっての“デジタルアーカイブ”」『じんもんこん 2004 論文集』(赤間亮, 川村清志, 後藤真, 野村英登, 師茂樹)、259～267頁	2004.12
論文(単)	「GODDAG 再考」『東洋学へのコンピュータ利用 第 16 回研究セミナー』、99～104頁	2005.3
論文(単)	「大規模仏教文献群に対する確率統計的分析の試み」『中國宗教文獻研究國際シンポジウム 報告書』、357～369頁	2005.5
論文(単)	「「デジタルアーカイブ」とはどのような行為なのか」『情報処理学会研究報告. 人文科学とコンピュータ研究会報告』2005(51)、31～37頁	2005.5
論文(単)	「楞嚴經惟懃疏の逸文をめぐる二、三の問題」『禪學研究 特別号』、221～234頁	2005.7
論文(単)	「仏教学における自然言語処理」『漢字文献情報処理研究』(6)、110～115頁	2005.10
論文(単)	「大規模仏教文献群に対する確率統計的分析の試み」『漢字文化研究年報』(1) (2005 年同題論文の再録)	2006.3
論文(共)	「自由な漢字フォント環境の構築に向けて」『東洋学へのコンピュータ利用 第 17 回研究セミナー』(上地宏一, 師茂樹)、121～127頁	2006.3
論文(単)	「情報歴史学のこれから: 花園大学・情報歴史学コースの 4 年間をふり返って」『漢字文献情報処理研究』(7)、84～90頁	2006.10
論文(単)	「文字オントロジに基づく文字オブジェクト列間の編集距離」『CHISE Conference 2005 報告書 & CodeFest 京都 2005 資料集』、13～19頁	2007.1
論文(単)	「人文科学研究における Google Earth の使い道」『東洋学へのコンピュータ利用 第 18 回研究セミナー』、85～93頁	2007.3
論文(単)	「徳一の「如是我聞」訓讀をめぐる二、三の問題」『東洋の思想と宗教』(24)、45～55頁	2007.3
論文(単)	「輪廻の構造: 『火の鳥』を通してみる日本の輪廻観」『アジア遊学』(101)、38～47頁	2007.7
論文(単)	「文字の见えない部分: 制御文字考(2)」『情報処理学会研究報告. 人文科学とコンピュータ研究会報告』2007(95)、65～70頁	2007.9
論文(単)	「制御文字考: 書記における制御的なものについて」『人文情報学シンポジウム —キャラクター・データベース・共同行為— 報告書』、1～9頁	2007.12
論文(単)	「中国古典戯曲文献の韻律の数理的分析に向けて」『東洋学へのコンピュータ利用 第 19 回研究セミナー』、43～54頁	2008.3

論文(単)	「五姓各別説と観音の夢: 『日本霊異記』下巻三十八縁の読解の試み」『仏教史学研究』50(2)、30～52頁	2008.4
論文(単)	「東アジア因明文献データベースの構想とプロトタイプ作成」『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集(情報処理学会シンポジウムシリーズ)』2008(15)、179～185頁	2008.12
論文(単)	「GraphText: 紙テープに呪縛されないテキストデータの試み」『漢字文献情報処理研究』(10)、17～22頁	2009.10
論文(単)	「Unicode とのつきあい方: 漢字文化圏を中心に」『コンピュータ & エデュケーション』27、12～17頁	2009.12
論文(単)	「携帯電話の絵文字における semantics の問題」『東洋学へのコンピュータ利用 第21回研究セミナー』、113～128頁	2010.3
論文(単)	「京町家の3次元CG復元をめぐる問題」『第16回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」論文集』、29～35頁	2010.11
論文(単)	「元暁の因明について: 唯識比量の解釈を中心として」『2010年度第15回元暁學研究院學術大會 元暁學の諸問題 II』、39～49頁	2010.11
論文(単)	「徳一の三時教判に基づく法華経解釈」『印度學佛教學研究』59(1)、58～65頁	2010.12
論文(単)	「元暁の唯識比量解釈: E. Franco 氏の説と比較しつつ」『元暁學研究』15、101～116頁	2010.12
論文(単)	「異なる文献間の数理的な比較研究をふり返る」『文字と非文字のアーカイブズ/モデルを使った文献研究』、31～38頁	2011.2
論文(共)	「下京・梅忠町の家屋敷景観の復元および家督相続の実証的研究」(松田隆行, 明珍健二, 師茂樹, 福島恒徳, 青江智洋, 江藤弥生)『花園大学文学部研究紀要』(43)、1～28頁	2011.3
論文(単)	「[資料紹介] 漢字出現頻度数調査」『論集文字』(1)	2011.5
論文(単)	「占察経の成立と受容: なぜ占いが必要とされたのか」『日本仏教学会年報』(77)、135～157頁	2011.8
論文(単)	「中国古典戯曲研究のための音韻表示システム: MediaWiki での実装の試み」『漢字文献情報処理研究』(12)、13～16頁	2011.10
論文(共)	「花園大学・龍谷大学ジョイントセッション 仏教資料のデジタル化と公開・活用をめぐる」(三谷真澄, 橘堂晃一, 芳澤勝弘, 師茂樹)『じんもんこん2011 論文集』、335～338頁	2011.12
論文(単)	「電子書籍の/とインタラクティビティ」『東洋学へのコンピュータ利用 第23回研究セミナー』、85～92頁	2012.3
論文(単)	「東アジア仏教論理学の形成と展開: 唯識比量をめぐる文化交渉を中心として」博士論文、関西大学、全303頁	2012.11
論文(単)	“Xuanzang’s proof of idealism (眞唯識量) and Silabhadra’s Teaching.” 『2013年第一屆慈宗國際學術論壇論文集』、167～175頁	2013.8
論文(単)	「スタディ・スキルズ教育としてのICT教育: レポートの書き方を中心に」『漢字文献情報処理研究』(14)、100～106頁	2013.10
論文(単)	「『デジタル教科書』をめぐる近年の動向」『漢字文献情報処理研究』(14)、	2013.10

	133~138 頁	
論文(単)	「義寂と新羅の唯識思想」『금산사와 한국의 유식사상(金山寺と韓国の唯識思想)』、35~55 頁	2014.4
論文(単)	“Xuanzang’s proof of idealism (真唯识量) and Silabhadra’s Teaching.” 『慈氏学研究 2014』、191~200 頁 (2013 年同題論文の再録)	2014.5
論文(共)	「時空間情報を用いた京都における「お地蔵さん」・地蔵盆の分析」『情報処理学会研究報告. 人文科学とコンピュータ研究会報告』2014(8) (近藤無滴, 星野純子, 村上紀夫, 福島幸宏, 師茂樹, 後藤真)、1~8 頁	2014.5
論文(単)	「義寂과新羅의唯識思想」『東國史學』(56)、65~91 頁	2014.6
論文(単)	「学術データベースの構築と公開」『漢字文献情報処理研究』(15)、21~29 頁	2014.10
論文(単)	“Kira Kōyō’s <i>Inmyō</i> Interpretations and Western Logic.” 『印度學佛教學研究』63(3)、1126~1132 頁	2015.3
論文(単)	「聖語藏所収の沙門宗『因明正理門論注』について」『東アジア仏教研究』(13)、135~150 頁	2015.5
論文(単)	「R による NGSM ツールの開発と課題 (特集 自然言語処理の研究・教育への応用)」『漢字文献情報処理研究』(16)、26~33 頁	2015.10
論文(共)	「古典中国語 (漢文) の形態素解析」『東洋学へのコンピュータ利用第 27 回研究セミナー』(安岡 孝一, Christian Wittern, 守岡 知彦, 池田 巧, 山崎直樹, 二階堂 善弘, 鈴木 慎吾, 師 茂樹)、3~14 頁	2016.3
論文(単)	“Proof of vijñaptimatratā and Mūṅgwē.” 『印度学仏教学研究』65(3)、1295~1301 頁	2017.3
論文(単)	「元曉『中邊分別論疏』の思想史上の位置とその意義」『21 世紀 元曉學의 意味와 展望: 元曉 撰述文獻의 系譜學的 省察』、187~225 頁	2017.5
論文(単)	「仏教文献とデジタル人文学: 日本の事例を中心に」『한국불교 문헌의 정본화와 확장성 (韓国仏教文献の定本化と拡張性)』、399~429 頁	2017.10
論文(単)	「明治时期的日本因明研究概況」『青藏高原论坛』2017(4)、58~78 頁	2017.10
論文(単)	「仏教から見た人工生命・人工知能」『한국불교학회 학술발표논문집 (韓国仏教学会学術発表論文集)』2017(1)、701~727 頁	2017.12
論文(単)	“Counterargument to the West: Buddhist Logicians’ Criticisms of Christianity and Republicanism in Meiji Japan.” <i>International Journal of Buddhist Thought and Culture</i> , 27(2)、181~204 頁	2017.12
論文(単)	「八世紀における唯識学派の対外交流: 崇俊・法清(法詳)を中心に」『印度学仏教学研究』66(1)、1~9 頁	2017.12
論文(単)	「Web アクセシビリティの現状: JIS X 8341-3:2016 と障害者差別解消法を中心に」『漢字文献情報処理研究』(17)、36~41 頁	2018.1
論文(共)	「古典中国語 Universal Dependencies への挑戦」(安岡孝一, クリスティアン・ウィッテルン, 守岡知彦, 池田巧, 山崎直樹, 二階堂善弘, 鈴木慎吾, 師茂樹)『情報処理学会研究報告: 人文科学とコンピュータ(CH)』2018-CH-116(20)、1~8 頁	2018.1
論文(共)	「古典中国語 (漢文) の形態素解析とその応用」(安岡孝一, ウィッテルン・	2018.2



	クリスティアン, 守岡知彦, 池田巧, 山崎直樹, 二階堂善弘, 鈴木慎吾, 師茂樹)『情報処理学会論文誌』59(2)、323~331頁	
論文(単)	“Four levels of the Twofold Truth in the East Asian Yogācāra School.” 『불교학연구 (佛教學研究)』54、75~94頁	2018.3
論文(単)	“Jayasena’s Proof of the Authenticity of the Mahāyāna Scriptures.” <i>Journal of Indian Philosophy</i> , 46(2)、339~353頁	2018.4
論文(単)	“Remarks on the 3DCG Visualization of Lost Buddhist Temples.” <i>Digital Humanities and Buddhism – Focusing on Data Mining and Visualization</i> 、71~81頁	2018.6
論文(単)	「人工知能を有情と見なすことは可能か」『日本佛教學會年報』(83)、22~39頁	2018.8
論文(単)	“Biography as Narrative: Reconsideration of Xuanzang’s Biographies Focusing on Japanese Old Buddhist Manuscripts.” 『首届玄奘与丝路文化国际研讨会 论文集 [上]』、477~489頁	2018.8
論文(単)	「研究ノート 韓国における仏教学とデジタル・ヒューマニティーズ: “Digital Humanities and Buddhism : Focusing on Data Mining and Visualization”参加記」『漢字文献情報処理研究』(18)、35~40頁	2018.10
論文(単)	“Metalogic or Paradox: Discussion on <i>Viruddhāvyabhicārin</i> in <i>Panbiryangnon</i> .” 『원호 『판비량론』, 문헌과 사상의 재조명 (元曉『判比量論』、文献と思想の再照明)』、107~124頁	2018.11
論文(単)	“Remarks on the 3DCG Visualization of Lost Buddhist Temples.” <i>International Journal of Buddhist Thought and Culture</i> , 28(2)、87~112頁	2018.12
論文(単)	「言語論的転回以降の東アジア仏教研究の試み」『比較思想研究』(45)、47~51頁	2019.3
論文(単)	「傳弘法大師・草書寫本斷簡群について: 圓測『成唯識論疏』斷簡を中心に」 『동아시아에 유전된 한국불교 문헌과 사상 (東アジアに流伝した韓国仏教文献と思想)』、181~219頁	2019.5
論文(単)	「沙门宗《因明正理门论注》对“可得相似”的解释」『哲学门』20(1)、1~17頁	2019.6
論文(単)	“Metalogic in East Asia: Discussion on the Antinomic Reason (* <i>viruddhāvyabhicārin</i> ) in <i>P’an piryang non</i> .” <i>International Journal of Buddhist Thought &amp; Culture</i> , 29(2)、69~91頁	2019.12
論文(単)	「花園大学情報センター(図書館)・今津文庫資料の調査報告: 大乘起信論・大乘經典写本断簡を中心に」『花園大学文学部研究紀要』(52)、87~98頁	2020.3
論文(単)	“Sthiramati, Paramārtha, and Wōnhyo: On the Sources of Wōnhyo’s <i>Chungbyōn punbyōllon so</i> .” <i>Journal of Korean Religions</i> , 11(1)、23~43頁	2020.4
論文(単)	「AI・仏性・倫理」『未来哲学』(1)、169~187頁	2020.11
論文(共)	「達磨宗・仏地房覚晏『心根決疑章』訓註(上)」『駒澤大學佛教學部論集』(52)(館隆志, 吉村誠, 師茂樹, 山口弘江, 柳幹康)、127~156頁	2021.10

論文(共)	「古典中国語(漢文) Universal Dependencies とその応用」『情報処理学会論文誌』63(2)(安岡孝一, ウィッテルン・クリスティアン, 守岡知彦, 池田巧, 山崎直樹, 二階堂善弘, 鈴木慎吾, 師茂樹, 藤田一乗)、355~363 頁	2022.2
論文(単)	「上書きされる蒙古襲来のイメージ: パブリック・ヒストリーとしての『Ghost of Tsushima』」『歴史評論』(870)、40~49 頁	2022.10
論文(単)	「衆生としての人間: 仏教における人間中心主義批判的側面」『日本佛教学會年報』(86)、243~258 頁	2022.8
論文(共)	「達磨宗・仏地房覚晏『心根決疑章』訓註(中)」『駒沢大学仏教学部論集』(53)(館隆志, 吉村誠, 師茂樹, 山口弘江, 柳幹康)、83~110 頁	2022.10
論文(共)	「達磨宗・仏地房覚晏『心根決疑章』訓註(下)」『駒澤大學佛教学部論集』(54)(館隆志, 吉村誠, 師茂樹, 山口弘江, 柳幹康)、141~170 頁	2023.10
論文(単)	「対話の哲学: 教相判釈と仏教論理学の現代的意義」『한국불교학회 창립 50 주년 기념 국제 학술대회 자료집 (韓国仏教学会創立 50 周年記念国際学術大会資料集)』、79~101 頁	2023.11
論文(共)	「『日本書紀』 Universal Dependencies への挑戦」『じんもんこん 2023 論文集』(安岡孝一, クリスティアン ウィッテルン, 池田巧, 藤田一乗, 守岡知彦, 山崎直樹, 二階堂善弘, 鈴木慎吾, 師茂樹)、169~176 頁	2023.12
論文(単)	「伝弘法大師草書写本断簡中の未詳唯識文献について」『印度学仏教学研究』72(1)、12~19 頁	2023.12
翻訳(単)	Christian Wittern. “ Embedding Glyph Identifiers in XML Documents”『漢字文献情報処理研究』第 4 号、74~79 頁	2003.10
翻訳(単)	Franco Eli 「玄奘による観念論( <i>viññaptimātratā</i> )の証明」『花園大学文学部研究紀要』43 号、87~112 頁	2011.3
翻訳(共)	アメリカ歴史学協会「歴史学におけるデジタル研究を評価するためのガイドライン」(菊池信彦, 小風尚樹, 師茂樹, 後藤真, 永崎研宣)、 <a href="http://hdl.handle.net/2261/59142">http://hdl.handle.net/2261/59142</a>	2016. 2
翻訳(単)	Joy Cecile Brennan 「白人の心についての仏教現象学」『人権教育研究』(31)、81~101 頁	2023.3
その他(単)	「仏典のデジタル化の現状」『月刊アスキー』1998 年 11 月号、全 3 頁	1998.10
その他(共)	「大正新脩大蔵経テキストデータベース (SAT) における外字問題」『人文学と情報処理』(25)、勉誠出版(下田正弘・師茂樹)、35~43 頁	1999.10
その他(単)	「ブラウザ(ソフトウェアレビュー ブラウザ・メールソフト)」Perl5.6(ソフトウェアレビュー その他)「学術リソースレビュー 仏教」『漢字文献情報処理研究』(1)、102~104, 107~109, 139~141 頁	2000.10
その他(単)	「中国製のソフト・CD-ROM など」「中国語で DTP」「電子メール送信の際の注意」「電子メール送受信に伴うトラブル」(特集「中国語電腦 Q & A——入門からトラブル解決法まで)『月刊しにか』2001 年 5 月号、52~59 頁	2001.5
その他(単)	「Internet Explorer 6(ソフトウェアレビュー インターネットツール)」「エディタの Unicode 対応(ソフトウェアレビュー その他)」「仏教(学術リソースレビュー 学術ソフトウェア)」『漢字文献情報処理研究』(2)、144~147, 150~153, 188~190 頁	2001.10

その他 (単)	「ポスト文字コードの意義」『漢字と情報』No.3、京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター、6頁	2001.10
その他 (共)	「オンライン討論 人文学情報処理教育はいかにあるべきか」対談『漢字文献情報処理研究』(3)(千田大介・二階堂善弘・師茂樹・清水哲郎・小川利康・小島浩之)、81~91頁	2002.10
その他 (単)	「Unicode 3.2(ソフトウェアレビュー 文字コードとフォント)」「CHISEプロジェクト(ソフトウェアレビュー 文字コードとフォント)」「WWWブラウザ(ソフトウェアレビュー ネットワーク)」「仏教学(学術リソースレビュー 学術サイト)」「書評『文字符号の歴史 アジア編』三上喜貴著」『漢字文献情報処理研究』(3)、141~142, 143~147, 151~152, 154~158, 176~177, 188~189頁	2002.10
その他 (共)	「オンライン討論 人文学情報処理教育における教える側の問題」『漢字文献情報処理研究』(4)(師茂樹・二階堂善弘・山崎直樹・千田大介)、32~38頁	2003.10
その他 (単)	「Unicode4.0(特集2 漢字処理技術の最新動向)」「東洋学情報化と著作権問題」参加レポート(漢情研2003年夏期公開講座 東洋学情報化と著作権問題 報告)」「Linux(ソフトウェアレビュー OS)」「仏教(学術リソースレビュー 学術サイト)」「書評『電脳日本語論』篠原一著」『漢字文献情報処理研究』(4)、40~42, 86~88, 105~107, 162~164, 179頁	2003.10
その他 (単)	「春期公開講座レポート(漢情研〔漢字文献情報処理研究会〕2004年春期・夏期公開講座 デジタルアーカイブと東洋学・東洋学と著作権(2)報告)」「OpenOffice.org(ソフトウェア レビュー オフィス系ソフト)」「書評『アメリカ高等教育におけるeラーニング—日本への教訓』吉田文著」『漢字文献情報処理研究』(5)、39~40, 132~135, 179頁	2004.10
その他 (共)	「宗教学(道教・仏教)(学術リソースレビュー 学術サイト)」『漢字文献情報処理研究』(5)(二階堂善弘・師茂樹)、161~162頁	2004.10
その他 (単)	「Unicode 4.1.0(ソフトウェア レビュー 多言語情報処理)」「OpenOffice.org(ソフトウェア レビュー オフィス系ソフト)」「仏教学(学術リソースレビュー 学術サイト)」『漢字文献情報処理研究』(6)、157~159, 174~175, 205~206頁	2005.10
その他 (単)	「私的検索のススメ(特集1 極める!デジタルテキスト)」「Intel Mac(ソフトウェアレビュー OS・フォント)」「Google(学術リソースレビュー 学術サイト)」「Wikipedia アンケートのまとめ(学術リソースレビュー 学術サイト)」「書評『文字符号の歴史—欧米と日本編』安岡孝一・安岡素子著」『漢字文献情報処理研究』(7)、32~33, 138, 160~162, 175~177, 190~192頁	2006.10
その他 (単)	「情報歴史学の教育に挑む」『歴博』第140号	2007.1
その他 (単)	「記憶を書き出す: 総括にかえて」『GYRATIVA』(4)、64~71頁	2007.9
その他 (単)	「漢文のマークアップ—現状と課題(特集 漢文とマークアップ)」「学術情報インターフェースとしての Google Earth (ソフトウェア レビュー) — (Google 提供のソフトウェア)」『漢字文献情報処理研究』(8)、70~72, 126	2007.10

	～129 頁	
その他 (単)	「総括」『人文情報学シンポジウム ―キャラクター・データベース・共同行為― 報告書』、77～80 頁	2007.12
その他 (単)	「一般キャラクター論のために:『テヅカ・イズ・デッド』再考」『ユリイカ』40(7)、151～157 頁	2008. 6
その他 (単)	「より包括的な「漢字文献情報処理」をめざして―特集「文献画像のデジタル化をめぐる諸問題」によせて (特集 文献画像のデジタル化をめぐる諸問題)」「Office 2008 for Mac (ソフトウェア レビュー アプリケーションソフト)」『漢字文献情報処理研究』(9)、62～65, 70～72 頁	2008.10
その他 (単)	「顛倒への名づけ―諸星マンガの描く宗教=哲学」『ユリイカ』41(3)、158～164 頁	2009.3
その他 (単)	「N グラム特集、その後 (特集 『漢情研(JJ)』10 年を振り返る―漢字文献情報処理の変遷)」「自著紹介『情報歴史学入門』」『漢字文献情報処理研究』(10)、82～88、180～181 頁	2009.10
その他 (共)	“A Proposal to Revise a Part of Emoticons in PDAM 8”、ISO/IEC JTC 1/SC 2/WG 2 N3711 (小形克宏・上地宏一・師茂樹・川幡太一・直井靖)、全 21 頁	2009.10
その他 (単)	「文字(キャラクター)を生み出す儀式: 白川静の漢字論によせて」『ユリイカ』42(1)、199～205 頁	2010.1
その他 (単)	「シヴァたちの記憶―『うしおととら』における反復される生」『ユリイカ』42(2)、152～158 頁	2010.2
その他 (共)	“Updated Proposal to Change Some Glyphs and Names of Emoticons”、ISO/IEC JTC 1/SC 2/WG 2 N3778 (小形克宏・上地宏一・師茂樹・川幡太一・直井靖)、全 4 頁	2010.3
その他 (共)	“Rational for Proposal of N3778”、ISO/IEC JTC 1/SC 2/WG 2 N3806 (小形克宏・上地宏一・師茂樹・川幡太一・直井靖)、全 4 頁	2010.4
その他 (単)	「「公共の記憶(メモリア)」としての電子書籍 (特集 電子書籍を読む!)」『ユリイカ』42(9)、106～112 頁	2010.8
その他 (単)	「書評「教会アーカイブズ入門 記録の保存と教会史編纂の手引き 東京基督教大学教会アーカイブズ研究会編 山口陽一・鈴江英一・新井浩文・杉浦秀典・阿部伊作著」」『季刊 Ministry』7、キリスト新聞社、85 頁	2010.10
その他 (単)	「全体討論のまとめ (漢情研 2010 年公開講座報告 電子出版の動向と諸問題)」「導入教育としての電腦中国学―千田大介案へのコメントとして (特集 Windows7 時代の『電腦中国学』と人文系情報処理テキスト)」「研究者のための iPad (2009～2010 ソフトウェアレビュー)」「文字コード技術 (ソフトウェアレビュー)」『漢字文献情報処理研究』(11)、48～52, 62～65, 106～111, 138～139 頁	2010.10
その他 (単)	「京町家の 3 次元 CG 復元による史料批判と問題発見」『文化財を測る、知る、伝えるの最前線―空間情報科学と測量・計測技術を用いた文化財研究―』、24 頁	2010.11
その他 (単)	「文字と仏教① 虫食いの跡が文字に見えることについて」『春秋』(525)、	2011. 1

	1～5 頁	
その他 (単)	「文字と仏教② 阿頼耶識を誤読してみる」『春秋』(527)、23～26 頁	2011. 4
その他 (単)	「文字と仏教③ アンチ・アンチコスモス」『春秋』(528)、21～24 頁	2011. 5
その他 (単)	「文字と仏教④ 文字は人間が作ったものではない、ということ」『春秋』(531)、20～23 頁	2011. 8
その他 (単)	「コンピュータは電子仏典の夢を見るか」『三色旗』(761)、20～24 頁	2011. 8
その他 (単)	「文字と仏教⑤ 全世界計算システムから生まれる生命」『春秋』(532)、20-23 頁	2011.10
その他 (単)	「《初年次教育向けテキスト》企画案 (特集 情報化時代における中国学次世代研究基盤の確立)」「ソフトウェア Mac OS X Lion」「ソフトウェア Microsoft Office for Mac 2011」「ソフトウェア EPUB3」『漢字文献情報処理研究』(12)、93～99, 114～115, 116～117, 125～128 頁	2011.10
その他 (単)	「なかなか変わらない世界: Digital Poetry に寄せて」『ユリイカ』43(11)、217～223 頁	2011.10
その他 (単)	「文字と仏教⑥ 未那識が見つめるもの」『春秋』(533)、20～23 頁	2011.11
その他 (単)	「文字と仏教⑦ 反復される誤読と人格」『春秋』(535)、24～27 頁	2012. 1
その他 (単)	「文字と仏教⑧ “「私」の「私」と辞書の意味」『春秋』(536)、24～27 頁	2012. 2
その他 (単)	「ウェブという言葉の大河の中で: 三浦しをん『舟を編む』に寄せて」『ユリイカ』44(3)、138～144 頁	2012. 3
その他 (単)	「文字と仏教⑨ 世界は常にすでに分節されている 倫理はどこにあるか」『春秋』(538)、21～24 頁	2012. 5
その他 (単)	「文字と仏教⑩ テクストと阿頼耶識」『春秋』(540)、21～24 頁	2012. 7
その他 (単)	「文字と仏教⑪ 文字と瞑想 書物は記憶される」『春秋』(541)、20～23 頁	2012. 8
その他 (単)	「文字と仏教⑫ ゴーストの時代」『春秋』(542)、30～33 頁	2012.10
その他 (単)	「Mac OS X で中国語 (特集 もっと『電脳中国学入門』)-- (Mac・スマートフォンで中国語)」「アンケート結果の分析: 2 項間の関係を中心に (特集 中国学向け情報スキル アンケート追加調査&分析)」『漢字文献情報処理研究』(13)、20～23, 134～144 頁	2012.10
その他 (単)	「井筒俊彦の「深層意識的言語哲学」をめぐって」『Samgha Japan』(13)、129～139 頁	2013. 3
その他 (単)	「震災と仏教(第 63 回学術大会パネル発表報告)」『印度學佛教學研究』61(2)、795～794 頁	2013. 3
その他 (単)	「大乘五蘊論を読む (一)」『第 349 回 (平成 25 年 4 月 13 日) 興福寺仏教文化講座要旨』、9～28 頁	2013. 5
その他 (単)	「『大乘五蘊論』を読むにあたって」『興福』160、3～4 頁	2013. 6
その他 (単)	「大乘五蘊論を読む (二)」『第 350 回 (平成 25 年 5 月 11 日) 興福寺仏教文化講座要旨』、14～39 頁	2013. 6
その他 (単)	「大乘五蘊論を読む (三)」『第 351 回 (平成 25 年 6 月 8 日) 興福寺仏教文化講座要旨』、16～35 頁	2013. 7
その他 (単)	「大乘五蘊論を読む (四)」『第 352 回 (平成 25 年 7 月 13 日) 興福寺仏教文化講座要旨』、21～43 頁	2013. 8

その他（単）	「学術団体が初年次教育の教科書を開発する意義: 漢字文献情報処理研究会による取り組みを例に」、『初年次教育学会第6回大会発表要旨集録』、59～60頁	2013.8
その他（単）	「大乘五蘊論を読む（五）」『第353回（平成25年8月10日）興福寺仏教文化講座要旨』、13～34頁	2013.9
その他（単）	「大乘五蘊論を読む（六）」『第354回（平成25年9月14日）興福寺仏教文化講座要旨』、14～37頁	2013.10
その他（単）	「総説（特集1 研究コミュニケーションツールと情報共有）」 「Dropbox/SkyDrive/Googleドライブ/iCloud（特集1 研究コミュニケーションツールと情報共有 II. オンラインストレージ）」 「iWork for iCloud（特集1 研究コミュニケーションツールと情報共有 III. オンラインオフィスアプリ）」 「研究コミュニケーションツールとしてのSNS（特集1 研究コミュニケーションツールと情報共有 V. SNS）」 「Twitterで学会実況なう（特集1 研究コミュニケーションツールと情報共有 VII. 学会2.0）」 「仏教文献を使ったSAMEのテスト（特集2 SAME応用事例集）」 「書評『Linked Data Webをグローバルなデータ空間にする仕組み』」 『漢字文献情報処理研究』（14）、22～23, 24～29, 43～44, 53～57, 74～78, 84～87, 177～179頁	2013.10
その他（単）	「大乘五蘊論を読む（七）」『第355回（平成25年10月12日）興福寺仏教文化講座要旨』、8～32頁	2013.11
その他（単）	「大乘五蘊論を読む（八）」『第356回（平成25年11月9日）興福寺仏教文化講座要旨』、17～37頁	2013.12
その他（単）	「大乘五蘊論を読む（九）」『第357回（平成25年12月14日）興福寺仏教文化講座要旨』、12～33頁	2014.1
その他（単）	「大乘五蘊論を読む（十）」『第358回（平成26年1月11日）興福寺仏教文化講座要旨』、20～45頁	2014.2
その他（単）	「流されないために—『大乘五蘊論』を読み終えて」『興福』163号、3～4頁	2014.3
その他（単）	「大乘五蘊論を読む（十一）」『第359回（平成26年2月8日）興福寺仏教文化講座要旨』、21～37頁	2014.3
その他（単）	「大乘五蘊論を読む（十二）」『第360回（平成26年3月8日）興福寺仏教文化講座要旨』、21～36頁	2014.4
その他（単）	「韓国の学術論文の検索方法（特集 東洋学論文検索指南）」 「BabelPad（2013～2014 レビュー&リソース紹介）」 『漢字文献情報処理研究』（15）、70～72, 97～99頁	2014.10
その他（単）	「〈いのち〉のアビダルマ」『第367回（平成26年10月11日）興福寺仏教文化講座要旨』、10～27頁	2014.11
その他（単）	「理由と剣客: 「剣の舞」を読む」『ユリイカ』46(16)、98～105頁	2015.1
その他（単）	「近畿支部例会 菩薩になるための儀式: 唯識派・法相宗の受菩薩戒に関する文献を中心に」『比較思想研究』41、167～170頁	2015.3
その他（単）	「コラム KH Coderが中国語に対応」 「Evernote Scannable（特集 文献）」	2015.10

	撮影のためのスマホアプリ&ツール)」「Scanbot (特集 文献撮影のためのスマホアプリ&ツール)」「Unicode の絵文字をめぐる近年の動向 (2014~2015 レビュー&リソース紹介)」「Book Review 王朝和歌研究の方法 近藤みゆき著」『漢字文献情報処理研究』(16)、33~34, 48~50, 65~68, 164~168, 177~179 頁	
その他 (単)	「見えないものに支配された場所」『花園大学人権教育研究センター報』(28)、99~100 頁	2015.12
その他 (単)	「お坊さんが伝記を書くということ: 宗教行為としての伝記叙述」『仏教史学研究』59(1)、68~86 頁	2016.11
その他 (単)	「「この世界」に没入する幸せと危うさ」『花園大学人権教育研究センター報』(51)、4~6 頁	2017.12
その他 (単)	「海外研究動向 国際仏教学会(IABS)第一八回大会報告」『日本仏教総合研究』(16)、139~146 頁	2018
その他 (単)	「2017 年仏教学国際学会参加記」(「中国学の情報化対応に関するアンケート 2016」概要 (特集 中国学の情報化対応に関するアンケート 2016))『漢字文献情報処理研究』(17)、11~16, 157~160 頁	2018.1
その他 (共)	「主要 OS の読み上げ機能 (特集 正しい HTML と Web ユニバーサルデザイン)」(千田大介, 師茂樹)『漢字文献情報処理研究』(17)、72~78 頁	2018.1
その他 (共)	「デジタル時代の中国学リファレンス(1)」(千田大介, 小島浩之, 上地宏一, 佐藤信弥, 佐藤仁史, 二階堂善弘, 師茂樹)『漢字文献情報処理研究』(17)、79~156 頁	2018.1
その他 (単)	「書評 大乘起信論成立問題の研究 大竹晋著」『中外日報』28363(2018 年 3 月 2 日)、6 頁	2018.3
その他 (単)	「明治維新 150 年企画 近代の仏教学・宗教学研究書 3 冊アンケート④」『仏教タイムス』2018 年 3 月 22 日・29 日合併号、5 頁	2018.3
その他 (共)	「第五十三回大会シンポジウム 人間とはなにか : 科学者と仏教者の対話を通して」(安藤光慈, 小堀聡, 師茂樹, 松尾宣昭)『龍谷教学』(53)、198~273 頁	2018.3
その他 (単)	「因明学の過去・現在・未来」『現代思想』46(16)、128~137 頁	2018.10
その他 (単)	「形態素解析とは何か (特集 入門・中国語形態素解析)」「macOS で HanLP を使う (特集 入門・中国語形態素解析)」『漢字文献情報処理研究』(18)、42~45, 72-75 頁	2018.10
その他 (共)	「デジタル時代の中国学リファレンス (2)」(千田大介, 小島浩之, 佐藤仁史, 師茂樹, 二階堂善弘)『漢字文献情報処理研究』(18)、77~147 頁	2018.10
その他 (共)	「2018 年夏期中国視察報告」(佐藤仁史, 千田大介, 師茂樹)『漢字文献情報処理研究』(18)、148~168 頁	2018.10
その他 (単)	「鉄笛 人工知能は"衆生"になれるか?」『大法輪』85(10)、53~55 頁	2018.10
その他 (共)	「座談会 『花園大学文学部研究紀要』五十号に寄せて」(西村恵信, 塩見敦郎, 芳井敬郎, 松久ミユキ, 師茂樹)『花園大学文学部研究紀要』(51)、1~23 頁	2019.3
その他 (単)	「米国電気電子学会「自律・知能システムの古典倫理」と仏教倫理」『宗教	2019.3

	研究』92(別冊)、105～106 頁	
その他 (単)	「お地藏さんとスワスティカ」『花園大学人権教育研究センター報』(54)、28～29 頁	2019.4
その他 (単)	「因明研究の現状と課題」『佛教學セミナー』(109)、39～66 頁	2019.6
その他 (単)	「「いのち」との向き合い方」『花園大学人権教育研究センター報』(55)、4～6 頁	2019.12
その他 (共)	「第 1 回「現代と親鸞」公開シンポジウム 〈かたられる〉死者」(中村玲太, 加藤秀一, 師茂樹, 吉水岳彦, 佐藤啓介)『親鸞仏教センター通信』(71)、4～5 頁	2019.12
その他 (単)	「巨大数の経験」『現代思想』47(15)、109～112 頁	2019.12
その他 (単)	「森政弘の仏教思想と AI・ロボット開発」『宗教研究』93(別冊)、140～141 頁	2020.3
その他 (単)	「「私塾」が拓く (かもしれない) 未来」『鴨東通信』(110)、16～17 頁	2020.5
その他 (単)	「現代の「他者」となるために: 上七軒文庫の活動によせて」『現代思想』48(14)、182～189 頁	2020.10
その他 (単)	「オンライン学会事例報告 日本印度学仏教学会 第 71 回学術大会: 参加者の立場から」『漢字文献情報処理研究』(19)、124～130 頁	2020.10
その他 (単)	「コロナ禍のなかで考えていたこと」『花園大学人権教育研究センター報』57、29～30 頁	2020.12
その他 (単)	「仏教学と人文情報学を学ぶ: 研究者の立場から (特集 日本史研究を捉えなおす: 「隣人」としての提言)」『日本史研究』(700)、70～81 頁	2020.12
その他 (単)	「仏教から見た AI・ロボットをめぐる諸問題」『叡山学院彙報』(45)、27～44 頁	2021. 2
その他 (単)	「仏教から見た AI・ロボットをめぐる諸問題」『叡山学院研究紀要』(43)、69～85 頁 (『叡山学院彙報』(45)の再録)	2021. 3
その他 (単)	「日本文化は「テクノアニミズム」か」「パネルの主旨とまとめ (AI と宗教: AI・ロボットの日本文化における受容を考える)」『宗教研究』94(別冊)、57-58, 62～63 頁	2021. 3
その他 (単)	「「死者」はどこにいるのか: 仏教の死者観と人間中心主義 (第一回現代と親鸞公開シンポジウム 〈かたられる〉死者)」『現代と親鸞』(44)、214～227 頁	2021. 6
その他 (単)	「仏教と人工知能の倫理」『中外日報』2021 年 11 月 3 日号、4 頁	2021.11
その他 (単)	「唯識と言語: ポストモダンの理解を超えて (特集 言語を問う地平: 語りえぬものへ) -- (唯識と言語: ポストモダンの理解を超えて)」「講義 (特集 言語を問う地平: 語りえぬものへ) -- (唯識と言語: ポストモダンの理解を超えて)」「比較哲学の現在: 護山真也『仏教哲学序説』をめぐる (書評と対話 仏教哲学はどこまで哲学か)」『未来哲学』(3)、45～57, 58～65, 288～301 頁	2021.12
その他 (共)	「座談会 仏教学研究と現代思想の最前線 (書評と対話 仏教哲学はどこまで哲学か)」(護山真也, 師茂樹, 一色大悟, 末木文美士)『未来哲学』(3)、302～330 頁	2021.12



その他（単）	「コンピュータを用いた聖典研究の現状と方法—2018年度チェーン・レクチャー概要 聖典研究の現状と課題」『京都・宗教論叢』（13）、57～59頁	2022.1
その他（単）	「先徳との対話を目指して（■特集を捉える [大谷由香「日本仏教における「慈悲殺生」の許容」へのコメント]）」『アンジャリ[Web版]』2022年2月1日	2022.2
その他（単）	「仏教から見たビッグデータ社会の問題」「パネルの主旨とまとめ（科学技術に浸透する／される宗教）」『宗教研究』95(別冊)、66～67, 71～72頁	2022.3
その他（単）	「五姓各別説の過去と現在」『興福』（195）、3～4頁	2022.3
その他（単）	「大西祝と因明」『図書』（882）、38～42頁	2022.6
その他（単）	「異文化対話を稽える」『第45回 全日本仏教徒会議 島根大会紀要』、34～36頁	2022.7
その他（単）	「小さな積み重ねの大切さ」「「世界終末時計」を進めないために：ウラディーミル・ミグダリスキーさん講演紹介」『花園大学人権教育研究センター報』（42）、62～63, 84～86頁	2022.12
その他（共）	「第五十六回大会シンポジウム『教行信証』研究の新たな可能性」『龍谷教学』（56）（佐々木義栄、殿内恒、西谷功、師茂樹）、116～185頁	2023.3
その他（単）	「末木文美士『死者と霊性の哲学 ポスト近代を生き抜く仏教と神智学の智慧』（朝日新聞出版、二〇二二年一月）」『比較思想研究』（49）、156～157頁	2023.3
その他（単）	「最澄・徳一論争から、対話について考える」『浅草寺仏教文化講座』67、177～193頁	2023.8
その他（単）	「「AIは悟れるのか」という問いについて考える」『未来哲学』（7）、30～50頁	2024.1
口頭発表（単）	「漢訳仏典の電子化における諸問題 大正大蔵経テキストデータベース（SAT）の場合」、中国語文献情報処理研究会、早稲田大学	1998.6
口頭発表（共）	パネルディスカッション「漢字文献データベースの構築における諸問題：国内情勢及び海外との協力体制について」、中国語文献情報処理研究会、早稲田大学	1998.6
口頭発表（単）	「法相宗の「一乗方便」説再考：諸乗義林を中心に」、日本印度学仏教学会第49回学術大会、鶴見大学	1998.9
口頭発表（単）	「漢字仏典データベースにおける外字問題」、情報知識学会第10回歴史研究と電算機利用ワークショップ、駿台電子情報専門学校	1998.12
口頭発表（共）	パネルディスカッション「東洋学の二十一世紀に向けて」、漢字文献情報処理研究会第1回大会、早稲田大学	1998.12
口頭発表（単）	“On the Missing - Characters (GAIJI) of the Taisho Tripitaka Text Database Published by SAT.” Electronic Buddhist Text Initiative、台湾・中央研究院	1999.1
口頭発表（共）	「大正新脩大蔵経テキストデータベース（SAT）における外字問題」（下田正弘・師茂樹）、歴史学のためのウェブサイト第2回経験交流会、東京大学史料編纂所	1999.3
口頭発表（共）	「XML版『般若心経』：仏教学におけるマークアップと外字処理」（師茂樹・石井公成）、第1回XML開発者の日、日本経営協会	1999.3

口頭発表 (単)	「撲揚智周伝についての二、三の問題」、日本印度学仏教学会第 50 回学術大会、龍谷大学	1999.9
口頭発表 (単)	「仏教学データベースにおける XML の活用: INBUDS における ID 検索の実現にむけて」、漢字文献情報処理研究会第 2 回大会、駒沢大学	1999.12
口頭発表 (単)	「オープンソースでなければできなかったこと: Namazu による INBUDS 検索システム構築の実際」、Open Platforms, Open Data, and the Sharing of Digitized CJK Materials、東洋学園大学	2000.6
口頭発表 (単)	「新羅元暁の三時教判批判」、日本印度学仏教学会第 51 回学術大会、東洋大学	2000.9
口頭発表 (単)	「オープンソース・ソフトウェアによる論文書誌データベースの構築: インド学仏教学論文データベース (INBUDS) の事例をもとに」、第 2 回韓日人文・社会科学学術交流記念講演会、島根県立大学	2000.11
口頭発表 (単)	「テキストの多様性とその電子化: 『大正新脩大藏経』電子化における XML の利用とその限界」、第五回 XML 開発者の日、日本 IBM 箱崎事業所	2001.4
口頭発表 (単)	“Complex Spatial Digitization Tasks for the SAT Project.” Electronic Buddhist Text Initiative、韓国・東国大学校	2001.5
口頭発表 (単)	「元興寺智光の法相宗批判と元暁」、日本印度学仏教学会第 52 回学術大会・創立 50 周年記念大会、東京大学	2001.7
口頭発表 (共)	「大規模漢字システムの現状: Unicode/GB 18030/今昔文字鏡/GT 明朝/TRON コード」(二階堂善弘・師茂樹・谷本玲大)、漢字文献情報処理研究会第 4 回大会、慶應義塾大学	2001.12
口頭発表 (単)	「Nグラムモデルとクラスター分析を用いた漢文古典テキストの比較研究 - 『般若心経』の異訳の比較を例に」、京都大学大型計算機センター第 69 回研究セミナー・東洋学へのコンピュータ利用、京都大学	2002.3
口頭発表 (単)	「最澄所引の「義林」に見られる法相教学批判: 元暁・義寂との関連で」、韓・日共同印度学仏教学学術大会・日本印度学仏教学会第 53 回学術大会、韓国・東国大学校	2002.7
口頭発表 (単)	“Why is the ekayana theory so important in the East Asian Yogacara studies?” Yogacara Buddhism Symposium、カナダ・カルガリー大学	2002.9
口頭発表 (単)	「相部律宗定賓の行状・思想とその日本への影響: 『四分律疏飾宗義記』に見える仏身論を中心に」、戒律文化研究会第 2 回研究大会、西大寺	2002.9
口頭発表 (単)	「Nグラムを用いたクラスタ分析による禅文献分類の試み」、禅学研究会第 73 回学術大会、花園大学	2002.11
口頭発表 (単)	「「ユニコードとは何か」から「Unicode4.0」まで」「CHISE プロジェクトが提案する新しい文字のモデル」、大阪外国語大学・科学研究費『多言語同時処理』プロジェクト第 1 回研究会「文字符号と多言語同時処理」、千里ライフサイエンスセンタービル	2002.12
口頭発表 (単)	「花園大学禅デジタルアーカイブ・プロジェクトの構想」「CHISE とは何ではないか」、漢字文献情報処理研究会第 5 回大会、花園大学	2002.12
口頭発表 (単)	「UTF2000.pm: Overview」、CHISE14 シンポジウム、国際電気通信基礎技術研究所	2003.2

口頭発表 (単)	「Chaon モデルの過去・現在・未来」、CHISE Symposium 2003、情報処理振興事業協会	2003.3
口頭発表 (単)	「N グラムによる比較結果からの用例自動抽出: 禅宗系の偽経を題材に」、東洋学へのコンピュータ利用第 14 回研究セミナー、京都大学	2003.3
口頭発表 (単)	「鹿食和上必当作伝: 『守護国界章』における円機未熟の読者について」、日本印度学仏教学会第 54 回学術大会、佛教大学	2003.9
口頭発表 (単)	「興聖寺本『続高僧伝』所収の玄奘伝の構成とその背景: 他の玄奘伝との比較から一」、花園大学国際禅学研究所禅宗史研究室主催研究会、花園大学	2003.10
口頭発表 (単)	「Perl/CHISE による正規表現の拡張の試み」、Linux Conference 2003、大阪産業創造館	2003.10
口頭発表 (単)	“Surface or Essence: Beyond the Coded Character Set Model.” 書体・組版ワークショップ (京都大学 21 世紀 COE 東アジア世界の人文情報学教育据点)、京都市国際交流会館	2003.11
口頭発表 (単)	「N グラムと文字データベースによる漢籍の音韻分析の試み」、漢字文献情報処理研究会第 6 回大会、慶應義塾大学	2003.12
口頭発表 (共)	パネルディスカッション「漢字文献データの汎用フォーマット～プレーンテキストから XML まで」、漢字文献情報処理研究会第 6 回大会、慶應義塾大学	2003.12
口頭発表 (単)	「N グラムと文字データベースによる漢字仏教文献の分析」、情報処理学会・第 61 回人文科学とコンピュータ研究会、山口大学	2004.1
口頭発表 (単)	「Unicode の <i>character</i> 概念に関する一考察」、東洋学へのコンピュータ利用第 15 回研究セミナー、京都大学	2004.3
口頭発表 (単)	「清辨の比量をめぐる諸師の解釈」、2004 韓国仏教学結集大会、韓国・中央僧伽大学校	2004.5
口頭発表 (共)	「文字素性に基づく文字処理」(守岡知彦・師茂樹)、情報処理学会・第 62 回人文科学とコンピュータ研究会、龍谷大学	2004.5
口頭発表 (単)	「思想史としての文字情報処理: 問題提起として」、シンポジウム「文字情報処理のフロンティア: 過去・現在・未来」、キャンパスプラザ京都	2004.6
口頭発表 (単)	「興聖寺本『続高僧伝』所収の玄奘伝の特徴」、日本印度学仏教学会第 55 回学術大会、駒澤大学	2004.7
口頭発表 (単)	“Xuanzang’s Inference and Silla Buddhism: Focusing on Japanese Texts.” 2004 금강대학교 국제불교학술회의 (金剛大学校国際仏教学術大会)、韓国・金剛大学校	2004.10
口頭発表 (単)	「大規模仏教文献群に対する確率統計的分析の試み」、京都大学人文科学研究所創立 75 周年記念中国宗教文献研究国際シンポジウム、京都大学	2004.11
口頭発表 (共)	パネルディスカッション「漢籍の新しい形—ネットワークとアーカイブ」、漢字文献情報処理研究会第 7 回大会・文部科学省科学研究費特定領域「東アジア出版文化の研究」G 班ジョイントセミナー「漢籍の情報化—これからの出版文化—」、関西大学	2004.12
口頭発表 (共)	パネルディスカッション「人文科学にとっての“デジタルアーカイブ”」、人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん :- ) 2004」、立命館大学	2004.12

口頭発表 (単)	「人文学のアポリアを乗り越えるために: 人文工学の可能性」、神戸学院大学地域研究センター文化人類学分野講演会、神戸学院大学	2005.2
口頭発表 (単)	「GODDAG 再考」、東洋学へのコンピュータ利用第 16 回研究セミナー、京都大学	2005.3
口頭発表 (単)	「『デジタルアーカイブ』とはどのような行為なのか」、情報処理学会・第 66 回人文科学とコンピュータ研究会、花園大学	2005.5
口頭発表 (共)	「携帯電話を利用した歴史博物館学習支援システムの共同開発プロジェクト」(師茂樹・佐藤誠・田中正流・後藤真)、平成 17 年度全国大学 IT 活用教育方法研究会 (私立大学情報教育協会)、アルカディア市ヶ谷	2005.7
口頭発表 (単)	「仏教学におけるデリダの受容と問題点」、方法論懇話会 2005 年度前期例会、布引温泉・国民年金健康保養センターこもろ	2005.9
口頭発表 (単)	「文字オントロジに基づく文字オブジェクト列間の編集距離」、CHISE Conference 2005、京都市国際交流会館	2005.10
口頭発表 (単)	「五姓各別説と観音の夢: 『日本霊異記』下巻第三十八縁の読解の試み」、佛教学会 2006 年 1 月例会、龍谷大学	2006.1
口頭発表 (共)	「自由な漢字フォント環境の構築に向けて」(上地宏一・師茂樹)、東洋学へのコンピュータ利用第 17 回研究セミナー、京都大学	2006.3
口頭発表 (単)	「徳一の『如是我聞』訓読をめぐる二、三の問題」、早稲田大学東洋哲学会第 23 回大会、早稲田大学	2006.6
口頭発表 (単)	「実忠」、南都文化研究組織第 1 回シンポジウム、元興寺文化財研究所	2006.7
口頭発表 (単)	「Kanji Database Project における漢字知識の収集と活用」、国際ワークショップ「典籍交流 (訓読) と漢字情報」、北海道大学	2006.8
口頭発表 (単)	「実践理論としての五姓各別説」、東アジア仏教研究会 2006 年度年次大会、駒澤大学会館 246	2006.12
口頭発表 (単)	「Unicode 5.0 と CJK Extension D」、漢字文献情報処理研究会第 9 回大会、ピアザ淡海	2006.12
口頭発表 (単)	「プロレスの『虚実』をめぐる二、三の事柄」、京都大学人文科学研究所共同研究「虚構と擬制: 総合的フィクション研究の試み」、京都大学	2007.1
口頭発表 (単)	「制御文字考」、人文情報学シンポジウム: キャラクター・データベース・共同行為、京都市国際交流会館	2007.3
口頭発表 (単)	「『日本霊異記』と法相宗」、南都文化研究組織第 3 回シンポジウム、元興寺文化財研究所	2007.3
口頭発表 (単)	「人文科学研究における Google Earth の使い道」、東洋学へのコンピュータ利用第 18 回研究セミナー、京都大学	2007.3
口頭発表 (単)	「所謂『南都読み』について」、南都文化研究組織第 4 回シンポジウム、奈良教育大学	2007.7
口頭発表 (単)	「新羅における玄奘の唯識比量の解釈: 憬興・太賢・道証を中心に」、日本印度学仏教学会第 58 回学術大会、四国大学	2007.9
口頭発表 (単)	「文字の見えない部分: 制御文字考(2)」、情報処理学会・第 76 回人文科学とコンピュータ研究会研究発表会/東南科技大学 2007 国際シンポジウム「人文科学とコンピュータ科学」、台湾・東南科技大学	2007.9

口頭発表 (共)	「中国古典戯曲のデジタル化をめぐる」(千田大介・師茂樹)、漢字文献情報処理研究会第 10 回大会、二松学舎大学	2007.12
口頭発表 (単)	「比蘇自然智再考」、南都文化研究組織第 5 回シンポジウム、元興寺文化財研究所	2008.3
口頭発表 (共)	「中国古典戯曲文献の韻律の数理的分析に向けて」(師茂樹・千田大介・二階堂善弘・山下一夫・川浩二)、東洋学へのコンピュータ利用第 19 回研究セミナー、京都大学	2008.3
口頭発表 (単)	「暴流の中で: 一般キャラクター論から見たキャラ/キャラクター論」、キャラクター・身体・コミュニティ~第 2 回人文情報学シンポジウム、京都市国際交流協会	2008.3
口頭発表 (共)	パネルディスカッション、キャラクター・身体・コミュニティ~第 2 回人文情報学シンポジウム、京都市国際交流協会	2008.3
口頭発表 (単)	「「人格」はどこにあるのか」、方法論懇話会 2008 年 3 月例会、花園大学	2008.3
口頭発表 (単)	「一般キャラクターとしての文字: 常用漢字問題によせて」、ワークショップ: 文字 —(新)常用漢字を問う—、花園大学	2008.7
口頭発表 (単)	「蜂の宮」、南都文化研究組織第 6 回シンポジウム、奈良教育大学	2008.7
口頭発表 (単)	「コメント」、国際研究フォーラム「ウェブ経由の神道・日本宗教: インターネット時代の宗教文化教育のゆくえ」、國學院大學	2008.10
口頭発表 (単)	「紙テープに呪縛されないテキストデータベース構築の試み」、漢字文献情報処理研究会第 11 回大会、慶応義塾大学	2008.12
口頭発表 (単)	「東アジア因明文献データベースの構想とプロトタイプ作成」、じんもんこん 2008 人文科学とコンピュータシンポジウム、筑波大学	2008.12
口頭発表 (単)	「携帯電話の絵文字の Unicode 登録をめぐる議論の動向」、第 2 回ワークショップ: 文字: 文字の規範、国立国語研究所	2009.2
口頭発表 (単)	「そのメタデータの作者は誰か」、国立歴史民俗博物館・共同研究「デジタル化された博物館資料に関する情報記述法の研究」、国立歴史民俗博物館	2009.2
口頭発表 (単)	「『日本霊異記』と占い」、南都文化研究組織第 7 回シンポジウム、元興寺文化財研究所	2009.3
口頭発表 (単)	「懺悔・占い・禪定・受戒: 『日本霊異記』下巻三十八縁の解釈を中心として」、民衆宗教史研究会・近畿支部例会、花園大学	2009.4
口頭発表 (単)	「文字を“わたる”ことについての予備的考察」、第 3 回ワークショップ: 文字 —新常用漢字表を問う Part 2— 兼「文字研究会」(仮称)設立準備会、花園大学	2009.7
口頭発表 (単)	「経典に埋め込まれた身体的因果: 仏教の実践論を考えるために」、花園大学国際禅学研究所・修行と身体班/宗教思想・文化研究会共催シンポジウム「身体からはじま(め)る思想(史)」、京都市国際交流協会	2009.12
口頭発表 (単)	「文字情報処理研究の日本と海外」、第一回文化とコンピューティング国際会議、京都大学	2010.2
口頭発表 (単)	「携帯電話の絵文字における semantics の問題」、東洋学へのコンピュータ利用第 21 回研究セミナー、京都大学	2010.3
口頭発表 (単)	「瑜伽師としての行基—『日本霊異記』の行基像をめぐる」、南都文化研	2010.3

	究組織第9回シンポジウム、奈良教育大学	
口頭発表(単)	「仏教の修行マニュアルに見る「身体」イメージ: 『天台小止観』を中心に—、からだの文化—修行と身体像—身体訓練の伝達を身体と言語・イメージの関係において考える2日間、学習院大学	2010.7
口頭発表(単)	「法相の教学」「律の教学」、南都文化研究組織2010年度奈良学セミナー、花園大学	2010.7
口頭発表(単)	「文化庁の出現頻度数調査から改定常用漢字を考える」、第5回ワークショップ: 文字—「現実」から見た改定常用漢字表—、東洋大学	2010.8
口頭発表(単)	「徳一の三時教判に基づく法華経解釈」、日本印度学仏教学会第61回学術大会、立正大学	2010.9
口頭発表(単)	「元暁の因明について: 唯識比量の解釈を中心として」、2010年度第15回元暁學研究院學術大會、韓国・불국사 문화회관(仏国寺文化会館)	2010.11
口頭発表(共)	「京町家の3次元CG復元をめぐる問題」(師茂樹・明珍健二)、第16回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」、花園大学	2010.11
口頭発表(共)	特別セッション「人文科学とデータベースの教育に関わる現状と課題」ラウンドテーブル(師茂樹・阪田真己子・柴田みゆき・河角龍典)、第16回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」、花園大学	2010.11
口頭発表(単)	「嵯峨本の数理的分析に向けて」、第5回角倉プロジェクト、国際日本文化研究センター	2012.1
口頭発表(単)	「電子書籍の／とインタラクティビティ」、東洋学へのコンピュータ利用第23回研究セミナー、京都大学	2012.3
口頭発表(単)	「日本宗教研究のためのデジタルアーカイブズの現状」、関西アジア文化研究センター(CSAC)第1回研究集会「アジア研究における学術アーカイブの現状と発展」、関西大学	2012.3
口頭発表(共)	パネル「震災と仏教」(末木文美士・佐藤哲朗・北條勝貴・石井公成)、日本印度学仏教学会第63回学術大会、鶴見大学	2012.7
口頭発表(単)	「『占察経』の語法について」、古代東アジアの変格漢文国際研究集会、駒澤大学	2012.12
口頭発表(単)	「スタディスキルズ教育としてのICT教育: レポートの書き方を中心に」、2013年度サマー・カンファレンス 大学教養課程とICT教育、北海道大学	2013.7
口頭発表(単)	“Xuanzang's proof of idealism (眞唯識量) and Silabhadra's Teaching.” 第一屆慈宗國際學術論壇、中国・香港理工大学	2013.8
口頭発表(単)	「大西祝の因明理解」、日本印度学仏教学会第64回学術大会、島根県民会館	2013.9
口頭発表(単)	「学術団体が初年次教育の教科書を開発する意義: 漢字文献情報処理研究会による取り組みを例に」、初年次教育学会第6回大会、金沢工業大学	2013.9
口頭発表(単)	“Gomyō's Interpretation on the proof of idealism ( <i>viññapti-mātratā</i> ).” Logic and culture: Theories of logic in Buddhist, Muslim and Aristotelian scholastics、ネパール・Lumbini International Research Institute.	2013.11
口頭発表(単)	「義寂と新羅の唯識思想」、금산사와 한국의 유식사상」학술세미나(金山)	2014.4

	寺と韓国の唯識思想学術セミナー)、韓国・韓国佛教歴史文化記念館	
口頭発表(単)	「菩薩になるための儀式: 唯識派・法相宗の受菩薩戒に関する文献を中心に」、比較思想学会・近畿支部例会、佛教大学	2015.2
口頭発表(単)	「「つぶやき授業」によるゆるやかな双方向型授業の実現と課題」、京都グループワーク研究会第35回研修会、花園大学	2015.4
口頭発表(単)	“Jayasena’s proof of the authenticity of Mahāyāna, and the discussions in Esdt Adia” Yogācāra Buddhism in Conetext: Approaches to Yogācāra Philosophy throughout Ages and Cultures. ドイツ・Ludwig-Maximilians-Universität München.	2015.6
口頭発表(単)	“Sthiramati, Paramārtha, Bhāviveka: East Asian Traditions of Sthiramati’s Genealogy.” Scholastic and/or yogin? The works attributed to the Indian medieval scholar Sthiramati. ドイツ・Universität Hamburg.	2015.8
口頭発表(単)	「コメント」、第11回研究会・ワークショップ「身体と政治: 近代日本の霊的な心身技法と国家論」、京都大学人文科学研究所	2015.9
口頭発表(単)	「聖語蔵所収『法華決釈記』巻四について」、日本印度学仏教学会第66回学術大会、高野山大学	2015.9
口頭発表(単)	「明治における因明研究」「沙門宗『因明正確門論注』について」、科学研究費補助金・基盤研究(B)「インド仏教論理学の東アジア世界における受容と展開: 因明学の再評価を目指して」第1回国内研究会、花園大学	2015.9
口頭発表(単)	「記憶を目覚めさせ、過去と向き合う」、シンポジウム「東アジアの日本学(ジャパノロジー)ー過去から現在、そして未来へー」、上智大学	2015.11
口頭発表(単)	「唯識・仏教論理学をめぐる近年の国際的な研究状況」、花園大学大学院仏教学研究会2015年後期定例研究発表会、花園大学	2015.12
口頭発表(単)	「日本古写経に見える玄奘伝」、玄奘フォーラム、筑波大学	2015.12
口頭発表(単)	「漢情研が投げかけたもの: Nグラム・教育・法学・電子書籍」、漢字文献情報処理研究会第18回大会、早稲田大学	2016.3
口頭発表(単)	「過類に関する東アジアの研究」、科学研究費補助金・基盤研究(B)「インド仏教論理学の東アジア世界における受容と展開: 因明学の再評価を目指して」(15H03155)第2回国内研究会、東京学芸大学	2016.3
口頭発表(単)	「東アジア諸文献に見える安慧『俱舍論』注釈書の引用と、その日本における受容」、第61回国際東方学者会議、日本教育会館	2016.5
口頭発表(単)	“Counterargument to the West: Buddhist Logicians’ Criticisms of Christianity and Republicanism in Meiji Japan” Buddhist Logic (hetuvidyā/yinming/inmyō) and its Applications in East Asia. オーストリア・Institut für Kultur- und Geistesgeschichte Asiens (IKGA), Österreichischen Akademie der Wissenschaften	2016.6
口頭発表(単)	「唯識比量に対する新羅からの批判: 文軌『因明入正理論疏』を中心に」、日本印度学仏教学会第67回学術大会、東京大学	2016.9
口頭発表(単)	“Four level of the Twofold Truth in the Japanese Yogācāra School.” Truth and Meaning in Buddhism. Center for Advanced Studies, ドイ	2016.9

	ツ・Ludwig-Maximilians-Universität München	
口頭発表 (単)	「お坊さんが伝記を書くということ: 宗教行為としての伝記著述」、佛教史学会・第 11 回佛教史学入門講座、龍谷大学	2016.9
口頭発表 (単)	「〈中国学の情報化対応に関するアンケート 2016〉中間報告」「(問題提起) インド学・仏教学における研究情報発信の取り組み (座談会「情報時代における日本中国学の可能性」)」、漢字文献情報処理研究会第 19 回大会、東京大学	2016.12
口頭発表 (単)	「ナラティブとしての玄奘伝: 日本古写経にみる玄奘伝の変遷」、龍谷大学アジア仏教文化研究センター2016 年度グループ 1 ユニット A (日本仏教の形成と展開) 学術講演会「玄奘三蔵の説話と美術」、龍谷大学	2017.3
口頭発表 (単)	「「文字とは何か」という問いをめぐる諸問題」、文字情報技術促進協議会特別講演会、マイクロソフト品川本社	2017.3
口頭発表 (単)	「元曉『中邊分別論疏』の思想史上の位置とその意義」、21 世紀 元曉學의 의미와 展望: 元曉 撰述文獻의 系譜學的 省察、韓国・曹溪寺歴史記念館	2017.5
口頭発表 (単)	「仏教教理から見た人工知能と生命」、龍谷教学会議第 53 回大会、本願寺聞法会館	2017.6
口頭発表 (単)	“Was there a dispute between Dharmapāla and Bhāviveka?: East Asian discussions on their proofs of Śūnyatā.” XVIIIth Congress of the International Association of Buddhist Studies. カナダ・University of Toronto	2017.8
口頭発表 (単)	「八世紀における新訳唯識派の活動: 東京文化財研究所『唐禅智寺故大徳法師崇俊塔銘序』を中心に」、日本印度学仏教学会第 68 回学術大会、花園大学	2017.9
口頭発表 (単)	「人工知能を有情と見なすことは可能か」、日本仏教学会第 87 回学術大会、東北大学	2017.9
口頭発表 (単)	「未来への異議申し立てのために: 3 次元復元 CG を作りながら考えること」、14th International Conference on Digital Preservation (iPRES2017)、京都大学	2017.9
口頭発表 (単)	「仏教文献とデジタル人文学: 日本の事例を中心に」、한국불교 문헌의 정본화와 확장성 (韓国仏教文献の定本化と拡張性)、韓国・東国大学校	2017.10
口頭発表 (単)	「仏教から見た人工生命・人工知能」、韓国仏教学会 2017 국제 학술대회 불교와 4 차 산업 (2017 国際学術大会 仏教と第 4 次産業)、韓国・東国大学校	2017.12
口頭発表 (単)	「「世の中を悪くしたくないから」投票しない学生について」、全国大学生生活協同組合連合会第 40 回「学生の意識と行動に関する研究会」、セッション杉並	2017.12
口頭発表 (単)	「村上専精『活用講述因明学全書』の思想」、国際シンポジウム「村上専精と近代日本仏教」(東京大学大学院人文社会系研究科インド哲学仏教学研究室/科学研究費・若手研究 B (課題番号 17K17601)「村上専精の基礎的研究」)、東京大学	2017.12
口頭発表 (共)	「古典中国語 Universal Dependencies への挑戦」(安岡孝一, ウィッテル	2018.1



	ン クリスマン, 守岡知彦, 池田巧, 山崎直樹, 二階堂善弘, 鈴木慎吾, 師茂樹)、情報処理学会・人文科学とコンピュータ研究会第 116 回研究会発表会、函館コミュニティプラザ G スクエア	
口頭発表 (単)	「元暁『判比量論』の研究動向」、科学研究費補助金・基盤研究(B)「インド仏教論理学の東アジア世界における受容と展開—因明学の再評価を目指して」(15H03155) 第五回国内研究会、東京学芸大学	2018.3
口頭発表 (単)	「聖語蔵所収『法華略讚嘆』の著者「末底弥伽」について」、未決研究会、龍谷大学	2018.5
口頭発表 (単)	“Remarks on the 3DCG Visualization of Lost Buddhist Temples.” Digital Humanities and Buddhism – Focusing on Data Mining and Visualization. 韓国・東国大学校	2018.6
口頭発表 (共)	「仏教学のフロンティアと比較思想」(末木文美士, 護山真也, 師茂樹, 下田正弘)、比較思想学会第 45 回大会、日本大学	2018.6
口頭発表 (単)	“Biography as Narrative: Reconsideration of Xuanzang’s Biographies Focusing on Japanese Old Buddhist Manuscripts.” 首屆玄奘與絲路文化國際研討會、中国・陝西賓館	2018.8
口頭発表 (単)	「理門論問答抄」について」、日本印度学仏教学会第 69 回学術大会、東洋大学	2018.9
口頭発表 (単)	「米国電気電子学会「自律・知能システムの古典倫理」と仏教倫理」、日本宗教学会第 77 回学術大会・パネル「技術社会と宗教: 人工知能の実装化が持つ宗教的意義について」、大谷大学	2018.9
口頭発表 (単)	「仏教学からの応答」、第 21 回マルチスピーシーズ人類学研究会/STEM・メタフィジック研究会共催『『実在への殺到』の波紋』、立教大学	2018.10
口頭発表 (単)	“Sthiramati, Paramārtha, and Wonhyo: On the sources of Wonhyo’s <i>Jungbyeon bunbyeollon so</i> .” 2018 Annual Meeting, American Academy of Religion. アメリカ・コロラドコンベンションセンター	2018.11
口頭発表 (単)	“Metalogic or Paradox: Discussion on <i>Viruddhāvhyabhicārin</i> in <i>Panbiryangnon</i> .” 원효 『판비량론』, 문헌과 사상의 재조명 (元暁『判比量論』、文献と思想の再照明)、韓国・東国大学校	2018.11
口頭発表 (単)	「近世における因明正理門論の研究: 浄土真宗を中心に」、インド論理学と東アジアの因明を架橋する『因明正理門論』の再検討」科研プロジェクト第 2 回研究集会、龍谷大学	2019.1
口頭発表 (単)	「東アジア仏教研究におけるデジタルアーカイブの利用」、デジタルアーカイブ学会第 3 回研究大会、京都大学	2019.3
口頭発表 (単)	「傳弘法大師・草書寫本斷簡群について: 圓測『成唯識論疏』斷簡を中心に」동아시아에 유전된 한국불교 문헌과 사상 (東アジアに流伝した韓国仏教文献と思想)、韓国・東国大学校	2019.5
口頭発表 (単)	「「死者」はどこにいるのか: 仏教の死者観と人間中心主義批判」、現代と親鸞」公開シンポジウム: 〈かたられる〉死者、大正大学	2019.6
口頭発表 (単)	「梁代仏教と日本への影響」、仏教の会津渡来への謎に迫るシンポジウム、会津坂下町中央公民館	2019.6

口頭発表（単）	「奈良・平安時代の法相唯識に関する唐決」、日本印度学仏教学会第 70 回学術大会・パネル発表 D「越境する教義問答: 「唐決」による相互交流とその周辺」、佛教大学	2019.9
口頭発表（単）	「九州国立博物館蔵・文軌『因明入正理論疏』巻一写本について」、「インド論理学と東アジアの因明を架橋する『因明正理門論』の再検討」科研プロジェクト第 3 回研究集会、龍谷大学	2019.9
口頭発表（単）	「森政弘の仏教思想と AI・ロボット開発」、日本宗教学会 2019 年度学術大会・パネル「人工知能の社会実装化が提議する宗教的問題」、帝京科学大学	2019.9
口頭発表（単）	「东亚唯识思想中《涅槃经》的运用: 以基与德一为中心(東アジア唯識における『涅槃経』の扱い: 基と徳一を中心に)」、第八届中日佛学会議、中国・新昌天怡酒店	2019.10
口頭発表（単）	“Maintainers of a Destroying World: A Doctrinal Discussion on Cheng weishi lun in the Japanese Rongi Tradition.” 2019 Annual Meeting of the American Academy of Religion. アメリカ・Hilton Bayfront San Diego	2019.11
口頭発表（単）	「漢文古典文献を分析するためのツールの普及に向けた取り組み」、漢字文献情報処理研究会第 22 回大会、一橋大学	2020.1
口頭発表（単）	「九州国立博物館蔵写本・文軌『因明入正理論疏』巻一について」、日本印度学仏教学会 第 71 回学術大会、オンライン	2020.7
口頭発表（単）	「東アジアの仏教論理学（因明）について」、論理学友の会第 3 回: 論理の多義性, 論理学の学際性、オンライン	2020.8
口頭発表（単）	「デジタル・ヒューマニティーズにおいて研究対象の範囲を限定することの必然性と方法についての予備的考察」、第 2 回関西デジタルヒストリー研究会、オンライン	2020.9
口頭発表（単）	「日本文化は「テクノ・アニミズム」か」、日本宗教学会第 79 回学術大会・パネル「AI と宗教: AI・ロボットの日本文化における受容を考える」、オンライン	2020.9
口頭発表（単）	「人工物としてのテキスト: 『仏教とエクリチュール』の提示する新しい方法論とデジタル・ヒューマニティーズとの接点」、シンポジウム「人文学と仏教学—学知構築の過程を照らす—(科学研究費基盤研究 A「仏教学デジタル知識基盤の継承と発展)」、オンライン	2020.11
口頭発表（単）	“morogram: Background, History, and Purpose of a Tool for East Asian Text Analysis.” 古代文献の言語分析から読み解く社会背景のダイナミズム (SPIRITS プロジェクト「データ駆動型科学が解き明かす古代インド文献の時空間的特徴)」、オンライン	2021.2
口頭発表（単）	「伝弘法大師・草書写本断簡群のデータ共有に向けて」、2021 年度前近代日本宗教ワークショップ (PJRW) ラウンドテーブル「仏教関連資料デジタルデータ共有の現在と可能性」、オンライン	2021.5
口頭発表（単）	「「AI 美空ひばり」は冒涇か: 人工知能が死者を代弁することをめぐって」、人権教育研究会第 112 回例会、花園大学/オンライン	2021.7
口頭発表（単）	「唯識と言語: ポストモダン的な理解を超えて」、未来哲学研究所第 3 回シ	2021.8

	ンポジウム: 言語を問う地平——語りえぬものへ、オンライン	
口頭発表 (単)	「仏教から見たビッグデータ社会の問題」、日本宗教学会第 80 回学術大会・パネル「科学技術に浸透する／される宗教」、オンライン	2021.9
口頭発表 (単)	「衆生としての人間: 仏教における人間中心主義批判的側面」、日本佛教学会 2021 年度学術大会 (第 90 回大会)、オンライン	2021.9
口頭発表 (単)	「新羅唯識研究の現況: 写本研究を中心に」、龍谷大学世界仏教文化研究センターシンポジウム「唯識仏教 (法相教学) の伝来と展開: 中国・新羅・日本」、オンライン	2021.10
口頭発表 (単)	「地域を調べ、声を聞く: 花園大学「課題解決プログラム」における YouTube 動画制作を通じた学び」、大学・地域連携シンポジウム: 地域連携活動の醍醐味、キャンパスプラザ京都／オンライン	2021.11
口頭発表 (共)	伝教大師最澄没後 1200 年記念国際ワークショップ「最澄と顕戒論」(鯨井清隆, プロフィット・アーロン, グローナー・ポール, 前川健一, 師茂樹)、2022 年度前近代日本宗教ワークショップ(PJRW)、オンライン	2022.2
口頭発表 (共)	「二辺を離れる: 『今日のアニミズム』をめぐる鼎談」(清水高志, 亀山隆彦, 師茂樹)、以文社・上七軒文庫・科研費基盤 A「種の人類学的転回: マルチスピーシーズ研究の可能性」・科研費基盤 C「仏教論理学の比較論理学・比較哲学的研究: 学際的研究のための基盤構築」、オンライン	2022.3
口頭発表 (共)	「上七軒文庫所蔵 RFS コレクションの紹介」(亀山隆彦, 師茂樹, 守屋友江)、ルース・フラー・佐々木コレクション ワークショップ (上七軒文庫; 科研費基盤研究 (B) JP20H01192)、オンライン	2022.3
口頭発表 (単)	「オンデマンド授業の諸形態と、それらの「適切」性について」、漢字文献情報処理研究会第 24 回大会、オンライン	2022.3
口頭発表 (単)	「聖典を文献学的に読むことの両義性について」、龍谷教学会議第 56 回大会 シンポジウム、浄土真宗本願寺派宗学院教場／オンライン	2022.6
口頭発表 (単)	「Nico Nolden and Eugen Pfister. “Gaming and Digital Public History”」、第 6 回関西デジタルヒストリー研究会「Handbook of Digital Public History 書評会 (その 1)」、オンライン	2022.7
口頭発表 (単)	“Tōketsu in the Jōwa era.” Doctrine and Practice beyond Borders: International Interactions in East Asian Buddhism (A Numata Visiting Scholar Fund Workshop)、アメリカ・Princeton University	2022.9
口頭発表 (単)	「「女性と仏教」研究史をふりかえる: 源淳子氏の研究を中心に」、龍谷大学ジェンダーと宗教研究センター・花園大学人権教育研究センター合同研究会、花園大学	2023.1
口頭発表 (単)	「仏教から見る脳オルガノイド研究」、第 22 回日本再生医療学会総会・特別企画 3「脳オルガノイド研究の倫理」、国立京都国際会館	2023.3
口頭発表 (単)	「比較思想としての天長六本宗書: 『秘密曼荼羅十住心論』を中心に」、比較思想学会 50 周年記念大会「比較思想と世界哲学」・50 周年記念シンポジウム①「空海と世界哲学」、大正大学	2023.7
口頭発表 (単)	「「史実」と「創作」の間で: 歴史実践としてのポップカルチャー」、パブリックヒストリー研究会第 15 回公開研究会「過去を生まれ変わらせる可能性	2023.8

	—歴史系マンガ作品の製作／読解にみる歴史実践—、上智大学	
口頭発表（単）	「AIは悟れるのか」という問いについて考える」、未来哲学研究所第7回シンポジウム「現代科学と人間性の拡張」、東京大学／オンライン	2023.9
口頭発表（単）	「伝弘法大師草書写本断簡中の未詳唯識文献について」、日本印度学仏教学会第74回学術大会、オンライン	2023.9
口頭発表（単）	「対話の哲学：教相判釈と仏教論理学の現代的意義」、한국불교학회 창립 50 주년기념 국제 학술대회（韓国仏教学会創立50周年記念国際学術大会）、韓国・東国大学校	2023.11
口頭発表（共）	「『日本書紀』Universal Dependencies への挑戦」（安岡孝一、ウィッテルン クリスティアン、守岡知彦、池田巧、山崎直樹、二階堂善弘、鈴木慎吾、師茂樹、藤田一乗）、じんもんこん 2023: 人文科学とコンピュータシンポジウム（情報処理学会・人文科学とコンピュータ研究会）、オンライン	2023.12
口頭発表（単）	「コメント 1」、身体と社会の実践知研究会シンポジウム「仏教と人類学のまじわるところ」、京都大学／オンライン	2023.12
口頭発表（共）	座談会「アジア研究データベースの活用」（二階堂善弘、師茂樹、田邊鉄、二ノ宮聡）、2023年度 KU-ORCAS 第1回研究集会「東アジア研究データベースの現状と展開」、関西大学／オンライン	2024.1
口頭発表（共）	「平安仏教」を読む、書く、学ぶ —ブックトーク・師茂樹『最澄と徳—』、亀山隆彦『平安期密教思想の展開—』（師茂樹、亀山隆彦、三後明日香、守屋友江）、南山大学／オンライン	2024.3
口頭発表（単）	「AIを用いた「再現」の問題点」、漢字文献情報処理研究会第25回大会／関西大学アジア・オープン・リサーチセンター（KU-ORCAS）DHR 班第2回研究集会、関西大学／オンライン	2024.3
講演（単）	「電子大蔵経の開版」、平成13年度（第6回）仏教図書館協会研修会、花園大学	2001.10
講演（単）	「解脱上人貞慶について」、大正大学学外研修会、笠置寺	2002.11
講演（単）	「悟ること～宗論を語る」、第二期京都学講座～中世人の京都～、サールナートホール	2007.3
講演（単）	「最澄と比叡山」、京都学 平安文化へのいざない、SBS 学苑浜松	2007.7
講演（単）	「空海と東寺」、第三期京都学講座～夢の平安をさぐる～、サールナートホール	2007.7
講演（単）	「Web 2.0時代の仏教情報」、佛教大学図書館竣工10周年記念シンポジウム「仏教関連資料のデジタル化の現状と将来」（平成19年度仏教図書館協会研修会と共催）、佛教大学	2007.10
講演（単）	「僧兵たちの京都」、京都学～院政から武士政権へ 京都の中世～、SBS 学苑浜松／サールナートホール	2007.11
講演（単）	「電腦佛教學～コンピュータで読む中国仏教～」、平成19年度佛教大学四条センター公開講座・仏教を極める「中国の仏教～教科書に載らないウラ話～」、佛教大学四条センター	2007.12
講演（単）	「キリシタンの見た京都」、京都学 江戸時代の京都、SBS 学苑浜松／サールナートホール	2008.6

講演(単)	「太秦と秦氏」、京都学 京都文化の発掘 知られざる都のこと、SBS 学苑浜松／サールナートホール	2008.10
講演(単)	「東山永観堂の「みかえり阿弥陀」その信仰」、京都学 京の文化と風俗、SBS 学苑浜松／サールナートホール	2009.6
講演(単)	「仏典電子化の諸問題」、浄土宗総合研究所	2009.6
講演(単)	「明恵上人と高山寺」、京都学～京都を変えた人・京都に魅せられた人～、SBS 学苑浜松／サールナートホール	2010.3
講演(単)	「天台中興の僧 元三大師良源」、京都学～知られざる京都の歴史～、SBS 学苑浜松／サールナートホール	2010.4
講演(単)	「京都の法華宗」、京都学講座～京都の知られざる歴史～、SBS 学苑浜松／サールナートホール	2012.3
講演(単)	「日本第一大学生・藤原頼長」、京都学講座～京都が誇る、ものと人、SBS 学苑遠鉄校／サールナートホール	2012.5
講演(単)	「京の路傍のお地藏さん」、京都学講座～京都街角ウォッチング～、SBS 学苑遠鉄校／サールナートホール	2012.12
講演(単)	「安倍晴明」、京都学講座～京都のふしぎ～、SBS 学苑遠鉄校／サールナートホール	2013.4
講演(単)	「大乘五蘊論を読む」、興福寺仏教文化講座(奈良)、興福寺会館	2013.4 ～2014.3
講演(単)	「宮中の法会」、京都学講座「京都と祭り」、SBS 学苑遠鉄校／サールナートホール	2014.3
講演(単)	「京都の地藏信仰と地藏盆: 歴史と伝統」、ふるさとの良さを活かしたまちづくりを進める会 山科の地藏・地藏盆調査報告会、京都市東部文化会館	2014.6
講演(単)	「大西祝: 同志社で学んだ哲学者」、京都学講座～あこがれの京都に来た人々～、SBS 学苑遠鉄校／サールナートホール	2014.7
講演(単)	「〈いのち〉のアビダルマ」、興福寺仏教文化講座(奈良)、興福寺会館	2014.10
講演(単)	「唯識思想入門: 三蔵法師・玄奘が伝えたもの」、朝日カルチャーセンター中之島教室	2014.11
講演(単)	“Xuanzang’s proof of idealism ( <i>vijñapti-mātratā</i> ): The Origin and Controversies.” ドイツ・ハンブルク大学	2014.12
講演(単)	「京都の「地藏」信仰と地藏盆」、平成 26 年度「京都学へのいざない講座—京都力を探る—」第 3 回まつり、京都府立大学	2015.1
講演(単)	「唯識思想入門: アーラヤ識とは何か」、朝日カルチャーセンター中之島教室	2015.3
講演(単)	「古写経の世界」、京都学～文化財を探る～、SBS 学苑遠鉄校／サールナートホール	2015.3
講演(単)	「唯識思想入門: 唯識におけるコトバ」、朝日カルチャーセンター中之島教室	2015.5
講演(単)	「戦国京都の信仰と戦場の呪術」、京都学～戦乱の京都～、SBS 学苑遠鉄校／サールナートホール	2015.8
講演(単)	「SNS からの社会の見え方」、京都市立銅駝美術工芸高等学校 PTA 教職員	2015.8

	合同人権研修会	
講演(単)	「唯識思想入門: 唯識と空」、朝日カルチャーセンター中之島教室	2015.9
講演(単)	「もうひとつの玄奘伝」、朝日カルチャーセンター中之島教室	2015.12
講演(単)	「唯識思想入門: 唯識における修行論」、朝日カルチャーセンター中之島教室	2016.3
講演(単)	「『洛中洛外図』に描かれた京都の寺社」、京都学講座「古地図・古絵図から見る京都」、SBS 学苑遠鉄校/サルナートホール	2016.3
講演(単)	「唯識思想入門: 如来蔵と唯識」、朝日カルチャーセンター中之島教室	2016.5
講演(単)	「法華経入門」、朝日カルチャーセンター中之島教室	2016.7
講演(単)	「平安京と蝦夷」、京都学講座「京と諸国の交流」、SBS 学苑遠鉄校/サルナートホール	2016.8
講演(単)	「SNS でのトラブルと対処」、京都市立銅駝美術工芸高等学校 PTA 教職員合同人権研修会	2016.8
講演(単)	「SNS でのトラブルとこころのケア」、京都市立銅駝美術工芸高等学校	2016.11
講演(単)	「京都をもっと知るための仏教史入門」、京都学講座「わかりやすい京都入門～歴史・民俗・美術から探る～」、SBS 学苑遠鉄校/サルナートホール	2017.2
講演(単)	「山のなかの仏たち～北白河界隈を歩く～」、京都学講座「心を奪われた京都～私のみつけた場所・もの・事柄～」、SBS 学苑遠鉄校/サルナートホール	2017.9
講演(単)	「暮らしの中の仏教」、会津ほとけの学校第 1 回、道の駅あいづ湯川・会津坂下	2017.10
講演(単)	「日本を知るための仏教」、会津ほとけの学校第 2 回、道の駅あいづ湯川・会津坂下	2017.11
講演(共)	「ほとがく×カオス*ラウンジ新芸術祭 2017 市街劇「百五〇年の孤独」特別講座百五〇年の誤読 ― 廃仏毀釈と 3.11 における「断絶」から「復興」への巡礼― 黒瀬陽平氏(カオス*ラウンジ代表)×師茂樹氏(花園大学教授)×亀山隆彦氏(龍谷大学非常勤講師)」、会津若松市生涯学習総合センター會津稽古堂	2018.1
講演(単)	「最澄の著作を読む」、京都学講座「京の神さま・仏さま」、SBS 学苑 遠鉄校/サルナートホール	2018.3
講演(単)	「海を越えた因明問答: 8 世紀における因明唐決とその回答」、北京大学因明論壇・第三講、中国・北京大学	2018.8
講演(共)	「ほとがくトークイベント 死者・仏教・観光―ポスト『新復興論』をめぐる冒険― 小松理虔×師茂樹×秋田光軌×陸奥賢」、会津若松市生涯学習総合センター會津稽古堂	2018.11
講演(単)	「因明研究の現状と課題」、平成 30 年度大谷大学仏教学会公開講演会、大谷大学	2018.12
講演(単)	「思想史の中の最澄・徳一論争」、大正大学総合仏教研究所公開講座、大正大学	2018.12
講演(単)	「最澄と空海: 平安京の仏教のはじまり」、京まなび 2019 京あるき 2019、株式会社ジェイアール東日本企画恵比寿本社ビル	2019.3

講演(単)	「寺町通: 寺院が集められた通りを歩く」、京都学「京都通になる! ~町々の面白みを深く知る~」、SBS 学苑遠鉄校/サルナートホール	2019.3
講演(単)	「鯖街道—比叡山の西を抜けて、大原へ」、京都学講座「京に向かう、街道の楽しみ」、SBS 学苑 遠鉄校/サルナートホール	2019.8
講演(単)	「井筒俊彦を読む: 「東洋哲学」入門(全3回)」、保存京町家上七軒文庫	2019.11 ~2020.1
講演(単)	「『成唯識論』を読む」、保存京町家上七軒文庫/オンライン	2020.1 ~2024.3
講演(単)	「三島由紀夫『豊饒の海(3) 暁の寺』の仏教教理部分だけを読む(全3回)」、保存京町家上七軒文庫/オンライン	2020.2~4
講演(単)	「無我論としての「笑い男」事件: 仏教学者が観た『攻殻機動隊 S.A.C.』」、保存京町家上七軒文庫/オンライン	2020.8
講演(単)	「仏教から見た AI・ロボットをめぐる諸問題」、叡山学院公開講座、叡山学院	2020.11
講演(共)	「学びの権利を守るために」(佐々木閑, 吉永純, 師茂樹, 梅木真寿郎)、第34回花園大学人権週間実行委員会 第34回花園大学人権週間 全体企画「新型コロナウイルス感染症と人権 花園大学からのメッセージ」、オンライン	2020.12
講演(単)	「序章・仏教史」、エア寺 八宗綱要講座、オンライン	2020.12 ~2021.2
講演(単)	「最澄・徳一論争を読み解く」、保存京町家上七軒文庫/オンライン	2021.3
講演(単)	「成実宗」、エア寺 八宗綱要講座、オンライン	2021.3~5
講演(共)	「【緊急放送】あつまれ! 凝然の森!! ~凝然研究の最前線~」(大谷由香, 小野嶋祥雄, 野呂靖, 亀山隆彦, 師茂樹)、オンライン(上七軒文庫合同会社)	2021.4
講演(共)	「書評チャンネル in シラス第1回: 『仏教とエクリチュール: 大乘経典の起源と形成』(東京大学出版会、2020年)」(亀山隆彦, 師茂樹)、オンライン(上七軒文庫合同会社)	2021.5
講演(共)	「書評チャンネル in シラス第2回: 「批判仏教」とは何だったのか」(亀山隆彦, 師茂樹)、オンライン(上七軒文庫合同会社)	2021.6
講演(単)	「法相宗」、エア寺 八宗綱要講座、オンライン	2021.6 ~11
講演(共)	トーク「日本国外の仏教研究(仮)」(亀山隆彦, 師茂樹)、オンライン(上七軒文庫合同会社)	2021.7
講演(単)	「“空有の論争”とは何か~インド・中国・朝鮮半島編」、保存京町家上七軒文庫/オンライン	2021.8
講演(単)	「“空有の論争”とは何か~日本編」、保存京町家上七軒文庫/オンライン	2021.8
講演(共)	「師茂樹×おかざき真里×亀山隆彦 仏教と論争、あるいは歴史を描くこと——『最澄と徳一 仏教史上最大の対決』刊行&『阿・吽』完結記念」(師茂樹, おかざき真里, 亀山隆彦)、オンライン(ゲンロンカフェ)	2021.11
講演(共)	「異文化交流の歴史から共生の知恵を学ぶ」、第45回全日本仏教徒会議 島根大会、DVDによる配信	2021.12
講演(単)	「師先生『最澄と徳一』刊行記念授業」、花園大学 文学部 日本文学科 現代	2021.12

	文化演習 A、花園大学／オンライン	
講演(共)	トーク・イベント「一年をふりかえる～『中世禅の知』『最澄と徳一』の出版に寄せて」(亀山隆彦, 師茂樹)、オンライン(上七軒文庫合同会社)	2021.12
講演(単)	「因明入門講座」、エア寺 八宗綱要講座、オンライン	2021.12 ～2022.3
講演(単)	「最澄・空海と徳一 ～平安時代、知られざる大論争～」、花園大学地域連携教育センター2021年度花園大学地域連携講座『まなび庵』、オンライン	2022.2
講演(単)	「現代社会の分断と調和を考える～最澄と徳一の論争を手がかりに～」、仏教伝道協会 第27回 BDK シンポジウム、仏教伝道センタービル／オンライン	2022.3
講演(単)	「最澄: 生涯と思想」、京都学講座「洛中洛外の寺社をめぐる」、SBS 学苑浜松校／サールナートホール	2022.3
講演(単)	「最澄・徳一論争と、その後の展開」、法華コモンズ シリーズ講座「法華仏教講座」第2回、オンライン	2022.5
講演(共)	町家座談「能から見た仏教、仏教から見た能」(松井美樹, 師茂樹)、オンライン(上七軒文庫合同会社)	2022.6 ～2024.3
講演(単)	「最澄と徳一: 平安時代の大論争を読み解く」、朝日カルチャーセンター中之島教室／オンライン	2022.7
講演(単)	「最澄・徳一論争から、対話について考える」、聖観音宗浅草寺第798回浅草寺仏教文化講座、丸の内マイプラザ	2022.10
講演(単)	「三蔵法師の伝えた論理学～因明入門」(全2回)、朝日カルチャーセンター中之島教室	2022.12
講演(単)	「最澄・徳一論争の思想史的意義」、天台宗東京教区教化研修所令和4年度第8講座、オンライン	2023.2
講演(単)	「比叡山の神々ー山王神道とその周辺ー」、サールナートホール京都学講座2022年下半期「神様があらわれる!～みぢかなかみさま、ふしぎなかみさま～」、サールナートホール	2023.2
講演(単)	「禅宗・浄土教・結語」、エア寺勸学院『八宗綱要』講座、オンライン	2023.4
講演(単)	「現代に活かす唯識思想」、朝日カルチャーセンター中之島教室／オンライン	2023.5～6
講演(共)	「おまけ放送 in シラス「プラーナと記憶:『シン・仮面ライダー』を読む」」(亀山隆彦, 師茂樹)、オンライン(上七軒文庫合同会社)	2023.6
講演(単)	「心は宇宙と同じ大きさなのか: 唯識・唯心思想のアポリアをめぐる議論」、武蔵野大学仏教文化研究所2023年度連続公開講座「仏教と哲学」	2023.12